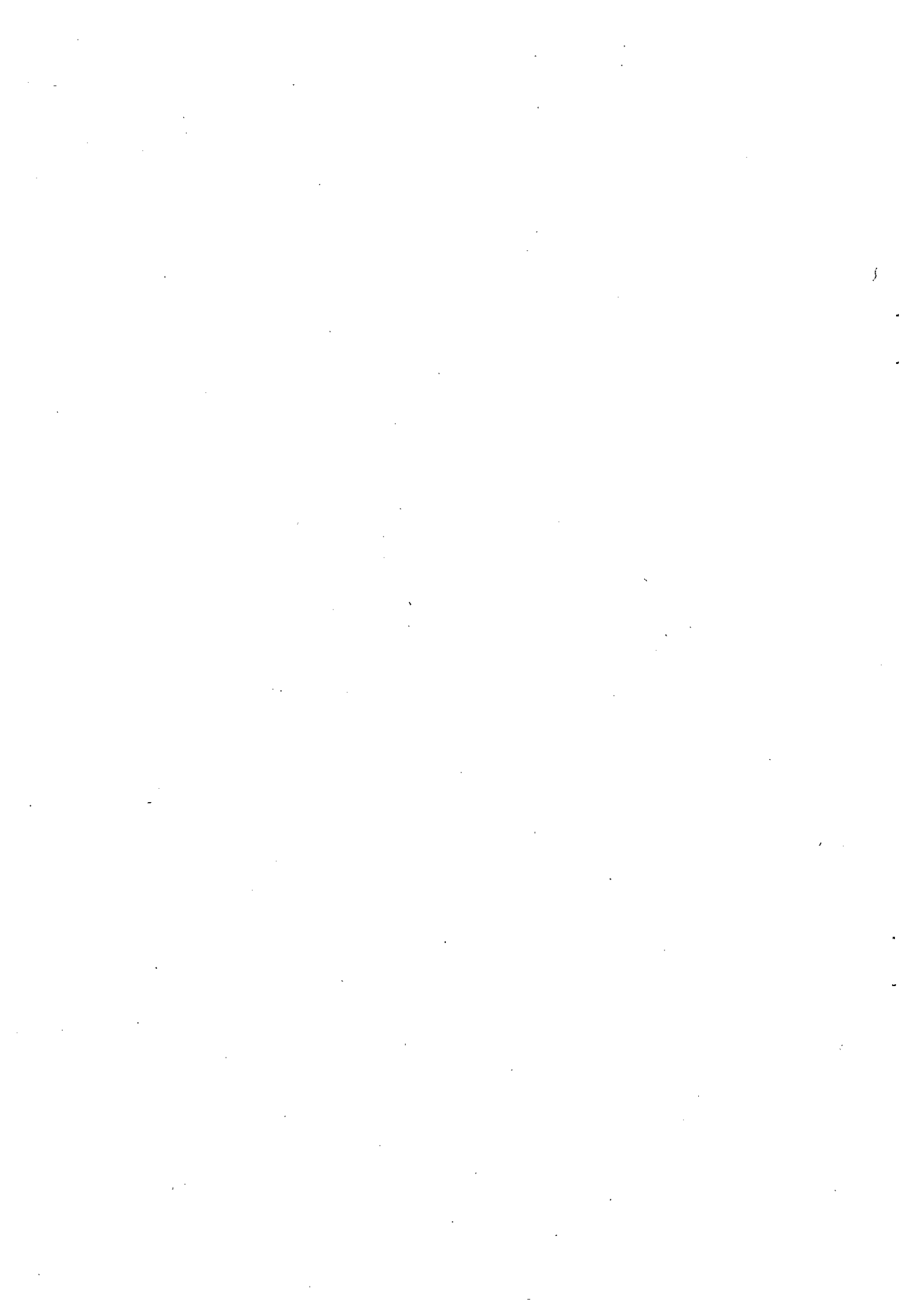


公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 4 年 6 月 6 日

提出者 国立市長 永見理夫



## 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況

1. 2021年度 事業報告書
2. 2021年度 決算書
3. 2022年度 事業計画書
4. 2022年度 収支予算書



## 財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団設立趣意書

国立市は基本構想で、その都市像を「文教都市くにたち」と定め、「国立にふさわしい文化の創造」をまちづくりの目標にかかげているが、これは国立市民の誇りとなり、これによって一層、このまちに愛着を深めることができるような、地域特性を生かした新しい文化資産を創造することを意味している。そのためには、市民が主体となって、芸術文化やスポーツの諸活動を推進することのできる環境の醸成と、ふれあいの場づくりが何よりも求められているといえよう。

国立市が昭和57年、旧庁舎跡地に「くにたち市民総合体育館」を建設し、続いて昭和61年、「くにたち市民芸術小ホール」の建設に着手、昭和62年11月3日の完成に向けて、文化とスポーツの総合センターの開設準備を進めていることは、まさにこの目標の具体化にほかならない。とくにこれらの施設が、計画の段階から市議会及び市民の積極的な参加を得て、「市民が主体となって日常的に自ら使いこなすことのできる施設として、市民の芸術・文化・スポーツの拠点としたい。」との考え方が強くうち出されたことは、施設の運営についても市民参加の基本方針が明快に示されたものといえることができる。

さいわい国立市は、芸術家、文化人、スポーツの専門家など豊富な人材に恵まれている。これらの専門家をはじめ、多くの市民の知恵と力を結集して、市民の芸術・文化・スポーツを振興するための新しい組織をつくるのが急務となっている。この組織は行政からの出資を根幹とした安定的な財政基盤を保ちながら、民間の自由な経営手法を取り入れ、弾力的な運営を行うものでなければならない。

したがって、市民に対しては、優れた芸術鑑賞の機会をより多く提供できるように、また、市民自らが行う文化及びスポーツの諸活動の育成と豊かな発展を積極的に援助し、あわせて施設のより効率的な運営と市民サービスの向上を図るために、「財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団」を設立するものである。



2021年度

# 事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

# 目 次

事業の概要	( 1 )
Ⅰ. 公益事業	( 1 )
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール) …	( 1 )
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(くにたち郷土文化館) ……	( 3 )
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館) ……	( 4 )
4. 共通公益事業(総務課) ……	( 5 )
Ⅱ. 収益事業等	( 6 )
1. 付帯サービス事業 ……	( 6 )
2. その他の事業 ……	( 6 )
Ⅲ. 管理(法人管理事業)	( 7 )
1. 役員及び役員会等に関する事業 ……	( 7 )
事業の内訳	( 8 )
1. 自主・共催事業	( 8 )
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	( 8 )
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	( 12 )
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	( 16 )
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	( 20 )
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	( 20 )
(6) 総合評価	( 22 )
2. 指定管理事業	( 24 )
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	( 24 )
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	( 26 )
(3) 市民総合体育館の利用状況	( 28 )
(4) 有料公園施設等の利用状況	( 30 )
3. 管 理	( 32 )
(1) 役員及び役員会等に関する事業	( 32 )



## 事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸術小ホールの事業では、予期せぬ社会情勢に柔軟に対応しつつ、引き続き貸館事業と自主事業それぞれの充実を行うことで互いに補完し収入と運営の安定をめざします。貸館については、財団や市による土日祝日の利用をできる限り抑制し市民利用を促進します。自主事業については市内外の各種団体との連携を活かし鑑賞・講座・ワークショップ・アウトリーチなどさまざまな市民参画手法の活用で幅広い世代がより深く事業へかかわれる体制を充実させます。さらに、共催形式や助成金の活用による収入増と、内容の充実および第一線で活躍する出演者起用を狙います。指定管理第三期第3年目として、施設利用者への利便性と公益性をより一層図っていきます。
- 郷土文化館では、谷保天満宮、旧本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。
- 市民総合体育館では、2021年度に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、オリンピックの種目を選定し体験会を開催します。また、公立小学校の水泳指導が、2020年度は新型コロナウイルスの影響で一切できなかったことから、2021年度は小学生初心者水泳教室や小学生夏休み水泳教室の見直しを行っています。このような視点を持ちながら、2021年度は以下のような事業を展開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業及び貸館事業が多大な影響を受けました。

## 1. 公益事業

### 1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)(くにたち市民芸術小ホール)

○館内利用者数 32,076人(目標数68,000人)

#### ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業10事業、芸術振興事業15事業、その他を5事業の、計30事業を実施しました。コロナの影響で実施中止とした事業があった反面、急ぎよ企画・実施した事業もありました。主催共催別では主催17事業、共催13事業を実施しました。

##### (ア) 芸術環境創造事業

地域の芸術的人材・団体を活かすことで当館ならではの事業制作を目指しました。また、ピエンナーレに代わる新規事業としてアーツカウンシル東京の協力を得て2020年度に立ち上げた「(仮称)くにたちアートプロジェクト事業」の検討を進めました。

##### ①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩地域の文化拠点をつないでいる芸術団体・たちかわ創造舎による全世代向け演劇公

演は7年目となりました。自由な外出が未だままならない中、家族連れや知り合い同士で来場する方が多く、生の舞台を体験できる機会となりました。

(一財)地域創造共催の現代ダンス事業では、我が国発祥の芸術・舞踏の第一人者で市内の中・高出身のアーティストが、国立での青春時代をテーマにした創作公演と市内3校とのアウトリーチを行いました。

## ②学校教育との連携事業

国立音楽大学と国立市による包括連携協定に基づいた音楽家育成支援事業「くにたちデビューコンサート」は、今年度から現代音楽への取り組みをその特徴と定め、他館ではなかなかないチューバのソロ演奏会としました。

また支援2年目となる(一財)地域創造の音楽活性化事業ではサクソフォン演奏家4名によるコンサートと市内小学校での4回のアクティビティを実施し、子どもたちとクラシック音楽の接点を創出しました。

## ③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では「初心者のためのウクレレ講座」を開催し、講師・参加者双方が学びあい交流する場をつくりました。また前年度の講座制作作品を展示し成果発表とする「市民一芸塾作品展」を2年ぶりに開催しました。

くにたちアートビエンナーレ2015の受賞作家による個展では新作4点が展示され、当館では珍しい現代美術作品を披露しました。

## (イ)芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみより深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

### ①芸術文化の創造事業

芸術の真髄である「創造」を行える施設をめざし、出演アーティストやクリエイターと協働しながら事業を展開しました。

具体的には若手演奏家たちによる無料のワークショップや公開演奏を提供するinc.percussion session, 2020年度から準備を進め市民参加による創作オペラ上演を目指す「多和田葉子複数の私」等5事業を実施しました。

### ②芸術文化の継承事業

「フレッシュ名曲コンサート(室内楽)」は東京都歴史文化財団(東京文化会館)との共催で、日本音楽コンクール第1位受賞等いま注目の若いピアニストによるリサイタルが好評を得ました。また10回目となった「こども寄席」は年々小学生参加者のレベルアップが顕著であり、落語人気のすそ野を広げることとなりました。

### ③芸術文化の交流・支援事業

定番「スタジオコンサート」は近年著名な出演者が登場する傾向にあり、いずれも売り出し直後に完売となりました。「すたじお寄席」は、レギュラーメンバーがつぎつぎと真打昇進し、若手が新規参入しながら回を重ねています。演者を育てる観客という両者の関係性が活かされる事業として定着しています。

### ④創客、利用拡大事業

「ランチタイムコンサート&ステージ」「イブニングコンサート」は整理券制で客席数を制限しつつ開催し、出演者への演奏機会の提供と市民が様々な音楽・ステージを気軽に楽しめる機会を提供しました。

「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は毎回受付開始日からまもなく予約が埋まる人気事業となりましたが、ピアノの老朽化を鑑み実施頻度を下げました。

## (ウ) その他

### ①自主事業、連携事業企画調査事業

広報の効果を上げ活性化を行うため前年度導入のSNS(ツイッター)、メールマガジン等の活用を図りました。また動画投稿サイトを活用し、過去の事業紹介やPRに努めました。

### ②実行委員会参画事業

定番の「くにたち音楽祭」「吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、「くにたちギャラリーネットワーク美術講演会」「わくわく子どもフェスタ」はいずれも中止、事業の縮小あるいは一般公開を行わないなどコロナの影響を受けましたが、各実行委員会が実施有無等について真摯な検討を行い、自主的な活動としての本分が果たされました。

## イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

2021年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で39.3%増の1,308件、利用料収入額は83.3%増の15,545,460円となりました。利用件数増の主な原因は、前年度の新型コロナウイルス拡大に伴う閉館、定員制限等の制限および利用者によるキャンセル等の影響が軽減したことと考えられます。

施設の老朽化に伴う修繕費は2021年度も増加傾向にありました。指定管理者が自主的に対応する小額修繕には都度対応を行っていますが不測の事態への対応体制も求められています。日常的な修繕への対応が常に求められています。

## 2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)(くにたち郷土文化館)

○館内利用者数 17,220人(目標数25,000人)

郷土文化館では、自主事業37、共催事業1の合計38事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業4、企画展示事業5、資料収集・調査・研究事業7、講座事業7、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業11、郷土の自然環境を学び体験する事業4となっています。

## ア. 郷土文化館事業

(ア)郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

### ①展示事業

2020年5月に逝去され、長年国立の芸術家として多くの人に親しまれ、作家としてだけでなく郷土の文化の振興に大きく貢献された関頑亭氏の企画展「関頑亭ー人生、飄々とー」。考古学の分野に限らず多分野で功績を残し、その生涯をかけて尽力した多摩地域での博物館活動と、国立市域で行われた発掘調査に焦点をあて、甲野氏の文化保護と社会教育に関する考え方を紹介した企画展「甲野勇 くにたちに来た考古学者」。国立を制作活動の場として活躍した陶芸家で、青磁に絵付けをするなどオリジナルのスタイルが海外で評価され人間国宝に認定された三浦小平二氏の企画展「人間国宝 三浦小平二 旅と共に」。旧国立駅舎内で、駅前広場の中心部にある現在の円形公園の成り立ちなどを中心として造成の経緯を歴史資料に拠って紹介した企画展「円形公園はじまり物語～近くて遠い『円形公園』ってなんだ?～」。公私立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしのくらし展」の計5回の展示事業を実施して延べ約16,000人を超える観覧者がありました。

## ②講座事業

コロナ感染防止のため、甲野勇展の関連事業としてオンラインによるミュージアムトーク、アウトリーチ事業として、旧国立駅舎内で行った円形公園はじまり物語展示の関連事業のトークイベント、通常立ち入ることができない駅前広場の中心部にある円形公園に実際に入り現状や歴史的経緯を紹介したガイドツアー等を実施しました。

### (イ)市民が参加及び体験する事業

#### ①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2021年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校(うち2校は出張授業)行い、700人近くの児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしの暮らし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。また、今回はコロナ禍ということもあり、わらざうり作り、十五夜だんご作り、ひし餅作りについては市民参加を見合わせ、ビデオ撮影を行いホームページで視聴できるようにしました。

#### ②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

### イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

2021年度の郷土文化館の入館者数は17,220人で2020年度と比較して4,064人、30.9%の増となりました。また、2021年度の古民家の見学者数は11,062人で2020年度と比較して2,713人、32.5%の増となりました。郷土文化館及び古民家の増は、いずれも2020年度に新型コロナウイルスの影響により臨時休館が約2か月あったためと、2021年度は桜ウォーキングのような集客力のあるイベントが実施できたためと思われます。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2021年度は1,072,200円で2020年度と比べ111,600円、11.6%の増となっております。なお、市主催事業の減免措置については、6.5%の増となっております。事業収入等の状況は、2021年度は771,440円で、2020年度と比べ358,880円、31.8%の減となっており、これは2020年度の旧国立駅舎での図録販売が大きく貢献したところによるものです。

### ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業(定款第4条第5号)

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2020年度市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務を受託し、完成させました。

### 3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

#### (くにたち市民総合体育館)

○館内利用者数 113,100人(目標数210,000人)

#### ア. スポーツ及びレクリエーション事業(定款第4条第3号)

総合体育館では、自主事業が22事業62回、共催事業が5事業5回、他組織への協力事業が1事業1回で合計28事業68回を企画しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で自主事業が6事業7回、共催事業が2事業2回、合計で8事業9回を中止にしました。

また、開催した自主事業のうち7事業については、事業を縮小して(開催日数の減)行わ

れました。2021年度もコロナの影響を大きく受けることになりました。

このような中、自主事業の小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多く、2021年度から財団主催で会場を総合体育館に変え実施しました。申込者は定員の2倍を超え大変好評でした。

オリンピック・パラリンピック関連事業では、ボクシング体験会及びラグビー体験会を実施する予定でしたが、いずれも新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

共催事業では、くにたちファミリーフェスティバルとスポーツ講演会が新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

くにたちウォーキングは、2021年度もオリンピック・パラリンピックの関係で開催を11月にしましたが、多くの参加者のもと健康増進と体力向上に寄与しました。

ダンスコレクションは新型コロナウイルスの影響で入場定員を半分にしましたが、満員の中、日頃の成果を発表し、団体間の交流を深めました。

#### イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

総合体育館利用者数(南市民プラザトレーニング室を含む)は個人が68,748人(5,407人、7.3%の減)、団体が43,646人(1,355人、3.0%の減)でした。

4月27日から5月31日までは、緊急事態宣言を受け窓口を除き体育館を全館休館、4月19日から10月17日及び2月1日から3月31日までは、新型コロナワクチン接種会場となったため、第一体育室の利用を中止しました。また、6月1日から10月24日までは、総合体育館の定員を50%、10月25日から11月30日までは、定員を75%に減らし、12月1日以降は、一部を除き定員を100%で運営をしました。2021年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けることになりました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は29,841,471円で、2020年度と比べて4,605,501円、18.2%の増収でした。これは、4月19日から10月17日及び2月1日から3月31日までは、新型コロナワクチン接種会場として市に貸し出したため、安定的な収入があったためです。一方、第一体育室が利用できないため、バドミントン、バレーボール、バスケット等ができなくなり、運動機会が減り利用者数は減少しました。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、29,658時間、利用率は76.6%、3箇所の野球場は、7,037時間、利用率は51.4%、サッカー場は、1,821時間、利用率は、50.0%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、21,076,825円で、2020年度と比較して3,827,100円、22.2%の増収でした。増収の理由は、2020年度は緊急事態宣言中に施設を閉鎖しましたが、2021年度は緊急事態宣言中も施設を開放したためです。

#### ウ. 学校開放受付業務受託事業(定款第4条第5号)

国立市立小・中学校(11校)の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

#### エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業(定款第4条第5号)

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延326人となり、2020年度と比べて14人、0.4%の減になりました。

#### 4. 共通公益事業(総務課)

##### ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民

団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」など5事業に助成しました。

・助成団体 5団体 ・助成金額 930,000円

#### イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

#### ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

## II. 収益事業等

### 1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

#### ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売する事業ですが、2021年度は受託0件でした。

・2021年度の受託団体数 0団体（0件） 受託販売手数料 0円

#### イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2021年度の販売額 229,045円 販売数5,717本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、ショーケースを設置し、健康飲料水等を販売しました。

・2021年度の販売額 120,810円 ・2021年度末棚卸額 9,803円

#### ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2021年度の販売額 466,600円 ・2021年度末棚卸額 371,400円

#### エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

・2021年度の販売額 196,860円 ・2021年度末棚卸額 125,614円

### 2. その他の事業

#### ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等および成人式等への貸付を行いました。

### Ⅲ. 管理（法人管理事業）

#### 1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 5回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2021年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

## 事業の内訳

### 1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 25,555,624 円）

#### (ア) 芸術環境創造事業

##### ①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 にじゅうまるシアター ①「注文の多い料理店」 ②「ドン・キホーテとサンチョ・パンサのおかしな旅」	自主	①6月26日 ②1月29日
2	旧駅舎のピアノ活用コンサート コロナ禍で中止	自主	通年
3	(仮称)くにたちアートプロジェクト事業	自主	通年
● 4	公共ホール現代ダンス活性化支援事業「大駱駝艦 田村一行舞踏公演『私家版 浪漫歷程』」（公演1回、アウトリーチ3回、ワークショップ1回）	共催	10月10日
5	(計画外実施)北條直彦JAZZトリオ	共催	12月17日

##### ②学校教育との連携事業

○ 6	くにたちデビューコンサートvol. 14 「チューバで聞く音楽の4世紀」（2回公演）	自主	2月26日
● 7	公共ホール音楽活性化支援事業「アーバン サクソフォンカルテット」（コンサート1回、アウトリーチ4回）	共催	7月3日

##### ③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

8	市民一芸塾 初心者のためのウクレレ講座	自主	11/17・24・ 12/1・8・15
9	市民一芸塾作品展	自主	4月24日～5月1日
● 10	くにたちピエンナーレ2015受賞作家個展 石と砂 中島真理子個展	自主	3月14日～26日
○ 11	放課後ダイバーシティダンス	共催	4～8月

#### (イ) 芸術振興事業

##### ①芸術文化の創造事業

○ 12	①inc. perc. session/Xenakis et le Japon (野外パフォーマンス、ワークショップ、) ②Xenakis et le Japon (野外パフォーマンス、ホールショーイング)	自主	4月5日～7日 6月2日～3日
○ 13	鼓童 交流公演2021 (2回公演)	共催	10月2日
● 14	【リーディング】『夜ヒカル鶴の仮面』 アジア多言語ワーク・イン・プログレス (連続研究会と公演)	共催	研究会：8/4, 8/25, 9/13 公演：10/30
● 15	多和田葉子 複数の私vol. 05+ステージクリエイションシリーズⅢ くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』（準備年）	主催	通年
16	(計画外実施) 富田真以子パーカッションリサイタル 「いろいろだがっき、いろいろおんがく」	共催	12月4日



告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演しました。客席数：①50% ②最前列のみ未使用	大人1,000 こども500	165
「まちの魅力発信拠点」である旧駅舎との連携でまちづくりへの参画を図るとともに芸小事業の事前PRに活用する予定でしたが、コロナ禍で必要となる客席数限定が同所の運営と相容れないため、当面中止としました。	500 歌集200	-
新たにアーツカウンシル東京と連携し、「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外の様々な主体が連携、協働し、芸術文化を通じた人々の活動や交流を促進する法人による拠点づくりを進めています。	-	-
ホールの活性化と現代ダンス分野における創造的な芸術環境づくりをめざし、国立市ゆかりの舞踏家によるアウトリーチを3回（国立三中特別支援級、市教育指導室さくら、桐朋中・高等学校）、ワークショップ1回、公演1回を行いました。（一財）地域創造共催。公演客席数50%。	一般2,500 学生1,000	161
教育委員・大野氏発案・企画・出演。だれもが気軽に音楽を楽しめる機会を創出することを目的に実施しました。国立市教育委員会共催。公演客席数は最前列のみ未使用	500	54
国立音楽大学出身で、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業を行いました。コロナ感染予防のため、客席数を50%とし、2公演実施としました。	1,000	143
ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりをめざし、音楽家による地域でのアウトリーチを4回（八小4年生2クラス、二小4年生2クラス）、ホールでの演奏会を2回行いました。客席数50%。（一財）地域創造共催。	一般1500 中学生以下500	227
地域の専門家による、市民向けの造形や実演の文化芸術講座。今年度は以前にも実施し人気があった初心者向けのウクレレ講座を開催しました。	2,000	12
2019年度（パステル画）、2020年度（ダーニング-英国式繕い）に実施した2講座の受講生による成果の発表展示を行いました。	0	24
くにたちアートビエンナーレ2015野外彫刻展大賞受賞作家による個展を開催しました。新作4点が展示されました。	0	149
オリ・バラ文化プログラム。子どもたちとアーティスト、地域のダンス関係者らと舞台作品を創作し芸小ホール、東京芸術劇場での発表を予定していましたがコロナ禍の影響により実施方法を変え、ワークショップの実施とその映像記録、オンラインでの報告会となりました。	0	64
オリ・バラ文化プログラム。世界的打楽器奏者・加藤訓子氏主宰の若手演奏家たちが演奏会や展示など複数のイベントを実施予定でしたがコロナ禍により規模を縮小し、無料でワークショップと野外パフォーマンスを提供しました。	0	387
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演を2年ぶりに実施しました。客席数50%。	3,000	174
京都芸術大学助成事業。日本語戯曲を多言語化しアジア5カ国の俳優によりリーディング公演実施の予定でしたが、コロナ禍により日本人俳優による上演となりました。芸小での稽古後、公演は京都で行いました。またそれに先立ち3回の研究会をリモートで行いました。	-	250
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子書下ろし台本による新作オペラ公演を、市民出演で2022年度に開催します。それに向けて市民参加者・スタッフを公募で選出し、11月から各種稽古を始めました。	市民コーラス・スタッフ 30,000 市民歌わない人5,000	1,100
文化庁助成ARTS for the future!に採択された演奏家による企画事業。現代音楽の魅力と、生活に密着した音の面白さを市民に伝えることを目的としました。こどもから参加できるワークショップとリサイタルを開催しました。客席数50%。	小学生以上3,000 未就学児1,000 3歳未満無料	77

## (イ) 芸術振興事業

## ② 芸術文化の継承事業

実施事業 通し番号	事業名	開催形態	実施日・期間
17	フレッシュ名曲コンサート (室内楽) 「谷昂登 ピアノリサイタル」	共催	6月12日
☆ 18	ホール寄席「立川志ゑん真打昇進記念落語会」	自主	12月5日
○ 19	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 (1回)	自主	7月27日
20	くにたち市民オーケストラ 2022年ニューイヤーコンサート	共催	1月16日

## ③ 芸術文化の交流・支援事業

● 21	スタジオコンサート (3回) vol. 101「小栗久美子トルンコンサート～風薫るベトナム竹琴の調べ～」 vol. 102「火星⇒地球2021夏～珠玉の名曲で綴る 星を越える歌声～」 vol. 103「北村聡 鈴木大介 情熱のアルゼンチンタンゴ」	自主	5月29日、7月、10月23日
22	くにたちすたじお寄席 46-48回	自主	6月13日、9月5日、3月6日

## ④ 創客、利用拡大事業

○ 23	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ (計10回)	自主	4/21, 5/19, 6/16, 7/21, 8/18, 9/15, 11/17, 1/19, 2/16, 3/16
24	イブニング・コンサート (計2回)	自主	8月18日・12月15日
25	ホールとグランドピアノのシェアプログラム (計8回)	自主	4/19・20, 5/10・11, 7/5/6, 9/28
26	(計画外実施) ワークショップ「オペラをつくろう！ 《工作》」 (計2回)	共催	8月9日

## (ウ) その他

## ① 自主事業、連携事業企画調査

27	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
28	その他事業 (オアシス、助成、消火栓広告、くにたちポイント)	自主	通年

## ① 実行委員会参画事業

○ 29	第45回 くにたち音楽祭	共催	6月20日→中止
30	第27回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月26日
○ 31	国立三中OB吹奏楽団 春風コンサート	共催	5月5日
32	ギャラリーネットワーク連携事業 コロナ禍で中止	共催	(予定) 6月
○ 33	第9回 わくわくこどもフェスタ	共催	2月20日

○ こどもおすすめ事業

☆ 協賛事業

● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
東京音楽コンクール第2位、日本音楽コンクール第1位受賞者によるソロコンサート。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的として開催しました。客席数50%。	一般2,000 学生1,000	138
すたじお寄席初代レギュラーメンバーの真打昇進を記念して、歴代メンバーが勢ぞろいしての記念落語会となりました。	一般3,000 高校生以下1,000	84
若手落語家指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して親しみ、話芸の世界を体験する小学生向け落語講座を開催しました。	参加800 見学500	14
毎年恒例となったくにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサート。今年度から共催事業として実施しました。	1,000	222

70席のスタジオで、音楽を身近に親しみやすく体験するコンサート。(101回) ベトナムの打楽器、(102回) 声楽、(103回) ギター&バンドネオン と多彩な音楽を気軽に聴ける機会の提供を行いました。	1,000	111
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を披露し、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催しました。	1,500	103

入場無料、客席数制限(整理券発行)で公益事業として開催。公募で選ばれた出演者による実演(おもに音楽)を披露しました。10月は出演者の要望でコロナ対策として中止しました。	0	525
8月、12月に上記事業を夕方に移して開催しました。		102
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	2,000	66
(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館、アーツカウンシル東京主催。東京文化会館で上演されるオペラ舞台に登場する小道具や飾りを作る小学生を公募。参加者は当該オペラのゲネプロを見学しました。当財団は協力として場所・広報を提供しました。	-	25

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	-	-
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。施設見学の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れはコロナ禍により実施しませんでした。	-	-

参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催予定でしたが、コロナ禍により中止としました。	0	-
参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催しました。コロナ禍により参加6校ごとに関係者のみ観覧、完全入れ替え制としました。	0	208
ファミリーフェスティバルは中止となりましたが、国立三中OB吹奏楽団による毎年好評の吹奏楽コンサートのみ、無観客で開催しました。	0	-
市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業として美術講演会を開催する予定でしたが、コロナ禍により中止しました。	0	-
立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織し子ども向けの様々な事業を行いました。	0	380

## (2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号)

〔郷土文化館〕 (決算額 26,291,516 円)

## ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

## ① 展示事業

## ・ 常設展示

実施事業 通し番号	事業名	自主・ <del>共催</del>	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自主	通年
○ 2	ハケと用水の魚類展示	自主	通年
○ 3	ハケに生きる鳥類展示	自主	通年
4	エコロジー&アメニティ空間創出のための施設及び周辺環境整備事業	自主	通年

## ・ 企画展示

● 5	春季企画展 「関頑亭 一人生、飄々と一」	自主	5月1日～6月13日
● 6	夏季ミニ展示「甲野勇 くにたちに来た考古学者」	自主	7月22日～9月12日
● 7	秋季企画展 「人間国宝 三浦小平二 旅と共に」	自主	10月9日～11月21日
● 8	旧国立駅舎内展示 「円形公園はじまり物語」 於) 旧国立駅舎広間	自主	10月19日～10月25日
○ 9	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自主	1月14日～3月13日

## ② 資料収集・調査・研究事業

10	企画展準備に伴う資料収集及び調査・研究事業	自主	通年
11	地域資料の整理	自主	通年
12	収蔵資料の整理	自主	通年
13	資料のデジタル化事業	自主	通年
14	図書等の資料整理	自主	通年
15	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自主	通年
16	調査・研究の書籍刊行事業	自主	通年

## ③ 講座事業 (教育・普及事業)

● 17	夏季ミニ展示関連事業 ミュージアムトーク「甲野勇先生の人と学問」	自主	8月21日
● 18	旧国立駅舎内パネル展示関連事業 トークイベント 「国立駅南口駅前広場ウンチクあれこれ」	自主	10月22日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 17,220
NPO国立市動物調査会の指導を得て、ハケ下の水路や府中用水の魚類を中心に展示しました。	—	—
ハケ周辺で見られる鳥類について、事故死した個体を剥製標本にし、館内に展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

長年芸術家として多くの人に親しまれ、作家としてだけではなく郷土の歴史や文化の振興に大きく貢献された頑亭氏の作品とその軌跡を紹介しました。	—	延 1,790
当館は開館当初から甲野氏資料を収蔵していましたが、長らく整理作業が滞っていました。再開した資料整理及び調査結果を周知する機会としました。	—	延 1,353
三浦小平二氏の作品作りの源になった「旅」をテーマに、市所蔵作品を中心に業績を振り返り、多くの方に芸術に親しんでもらう機会としました。	—	延 2,904
国立駅開設と一体的に整備された円形公園について、成り立ちをなどを中心として提示し、その造成の経緯を歴史資料に拠って紹介しました。	—	延 8,169
昔のくらしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。	—	延 2,673

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に関する資料の収集及び調査・研究を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
市役所広報担当撮影写真等のデジタル化、情報入力の促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
寄贈図書等の資料整理を継続し、中央図書館のシステム上で検索可能なデータベース化を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

博物館活動と市域で行われた発掘調査等、甲野氏の文化財保護と社会教育に関する考えをオンライン及び会場に向けて講師に紹介してもらいました。	—	83
駅前広場の中心部にある現在の円形公園は、駅開設後間もなく「水禽舎」が設置され、人々が集う人気スポットとなっていた等々の話を紹介しました。	—	35

実施事業 通し番号	報		実施日・期間	
	事	業		
● 19	旧国立駅舎内パネル展示関連事業	ガイドツアー 「行ってみよう!円形公園」	自主	10月24日
● 20	秋季講演会	「多摩の縄文時代中期」 -最近の縄文時代遺跡の調査・研究成果からわかってきたこと-	自主	11月23日
● 21	古文書に親しむ	「本田家旧蔵資料を読む」-忘れられた安楽寺の記憶-	自主	11/28, 12/11, 12/19
● 22	講演会	「旧本田家住宅の工事現場から」	自主	3月26日
● 23	冬季企画展関連音楽鑑賞事業	「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自主	3月5日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 24	国立市古民家の公開と展示事業	自主	通年
○ 25	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自主	4月24日～5月9日
○ 26	伝統行事 七夕飾り	自主	6月26日～7月7日
27	わら細工教室 わらぞうり作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自主	8月13日
28	古民家事業 十五夜だんご作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自主	9月15日
29	伝統文化体験事業 千支の折り紙教室	自主	11月28日
30	わら細工教室 しめ縄飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自主	12月14日
31	伝統行事 まゆ玉飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自主	1月11日
32	民具案内 国立市内公立、私立小学校3年生対象	自主	1月17日～3月11日
○ 33	伝統行事 ひな人形飾り	自主	2月18日～3月9日
34	伝統行事 ひし餅作り	自主	2月19日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 35	くにたち自然クラブ (全5回)	共催	6月20日～12月12日
○ 36	フィールドワーク 身近な水辺を体感しよう	自主	10月10日
○ 37	天体観測 冬の星空ウォッチング (全3回)	自主	12月8日～2月15日
○ 38	自然観察会 冬の生き物探し	自主	3月6日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
現在、市民や国立駅利用者などが通常立ち入ることができない円形公園について、実際に入り現状や歴史的経緯を紹介しました。	200	20
緑川東遺跡や、南養寺遺跡などにおける縄文時代中期について、その集落や土器の特色、土器と石棒にうかがえる世界観を解説してもらいました。	—	37
本田家主屋の解体・調査が進められているなか、本田家旧蔵資料の中から選出し、歴史資料を読み解く楽しさを学び、郷土の歴史に親しむ機会としました。	各300	延 62
工事が着々と進めているなか、工事からわかってきたことや工事の状況など、工事に携わっている方にトークセッションで生の声を届けました。	—	31
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	50

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 11,062
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 2,113
郷土文化館、古民家、城山さとのいえで短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 623
例年、谷保の昔の暮らしぶりを知り、体験する事業として開催してきましたが、コロナ感染防止のため、動画で撮影しHP上で視聴できるようにしました。	—	—
例年、農作物の収穫に感謝する伝統行事として行ってきましたが、コロナ感染防止のため、動画で撮影しHP上で視聴できるようにしました。	—	—
和紙で2022年の干支である寅を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	1,000	14
コロナ禍以降における教室開催に向けて、技術の継承と指導者の育成としての実地研修の場として本年度は実施しました。	—	—
コロナ禍以降における事業実施に向けて、技術の継承と指導者の育成としての実地研修の場として本年度は実施しました。	—	—
社会科授業の一環として、郷土文化館所蔵の民具の解説と体験を行いました。(全11校 二小、桐朋小は出張授業)	—	732
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,202
ひし餅は桃の節句のお飾りとして体験事業としてきましたが、コロナ感染防止のため、動画で撮影しHP上で視聴できるようにしました。	—	—

小学生を対象とし、ハケや湧水、矢川、府中用水、多摩川の生き物や自然の観察を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 217
くにたちの水環境について、実地踏査(生き物採集など環境調査)をし、自然環境を学び、地域のことを知る楽しさを体験するために実施しました。	300	延 12
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 89
NPO法人国立市動物調査会の指導のもと、土や朽木の中で越冬する昆虫たちを探しながら、冬の自然観察方法などを学びました。	100	19

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

〔市民総合体育館〕 (決算額 19,775,537 円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自主	5月12日～6月30日 8月25日～10月13日 10月27日～12月22日 1月26日～3月23日
2	初めての気功と健康太極拳 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自主	4月6日～6月1日 6月8日～7月27日 9月7日～10月26日 11月2日～12月28日 1月11日～3月1日
3	太極拳24式・48式 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自主	4月6日～6月1日 6月8日～7月27日 9月7日～10月26日 11月2日～12月28日 1月11日～3月1日
4	水中リズムウォーキング ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自主	4月21日～6月16日 9月1日～10月20日 11月10日～1月12日 1月26日～3月23日
5	骨盤調整&エアロビクス ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自主	4月10日～5月29日 6月19日～8月7日 11月6日～12月25日 1月22日～3月12日
6	楽しいフラダンス ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自主	5月6日～7月15日 9月16日～11月18日 12月2日～2月17日
7	大人の初心者水泳教室 (8日間)	自主	5月28日～7月16日
8	インターバル速歩 12回	自主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

9	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自主	4月6日～6月29日
10	レベルアップゴルフ① レベルアップゴルフ② (12日間) (6日間)	自主	9月7日～12月3日 2月1日～3月18日

③親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
11	親子体操教室 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間)	自主	コロナによる中止 9月3日～11月5日 1月14日～3月11日
12	親子野球教室 ①(1日) ②(1日)	自主	10月30日 3月5日
13	親子スイミング教室 ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自主	コロナによる中止 11月1日～12月6日 2月7日～3月14日



告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は5日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000 5,000	268 471 467 445
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は4日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000 5,000 5,000	117 250 240 228 247
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は4日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000 5,000 5,000	159 313 324 305 301
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は4日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000 5,000	143 304 306 304
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は3日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000 5,000	87 215 210 174
音楽に合わせバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①は4日間に縮小しました。	5,000 5,000 5,000	68 107 123
夜間の事業です。最も参加者の年齢層が幅広い事業です。 ※新型コロナウイルスの影響により7日間に縮小しました。	5,000	64
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に申込不要の自由参加で開催しています。 ※新型コロナウイルスの影響により4、5、8、9月、雨の影響で7、10月は中止しました。	無料	161

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	388
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000 9,000	480 249

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	5,000 5,000 5,000	115組 230 147組 294
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無料	49組 98 26組 52
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により①を中止しました。	4,000 4,000 4,000	71組 142 57組 114

④小中学生スポーツ体験事業

○	14	小中学生無料開放 (夏休み2回) (冬休み1回) (春休み1回)	自主	7月28日、8月18日 1月5日 3月28日
○	15	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自主	コロナによる中止 コロナによる中止
○	16	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自主	コロナによる中止
○	17	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自主	8月4日～8月6日
○	18	小学生かけっこ教室 (8日間)	自主	5月28日～7月16日
○	19	サッカークリニック (1日間)	自主	1月16日
●	20	小学生夏休み水泳教室	自主	8月2日～8月20日

⑤共催事業

○	21	第30回ファミリーフェスティバル	共催	コロナのため中止
	22	第31回くにたちウォーキング	共催	11月21日
	23	第31回ダンスコレクション	共催	2月13日
	24	スポーツ講演会	共催	コロナのため中止
○	25	小学生初心者水泳教室 (低学年、高学年)	共催	6月11日～7月9日 3月2日～3月25日

⑥協力事業

	26	体力テスト対策 一小 (1～6年生)	協力	5月17日 6月10日 6月16日
--	----	-----------------------	----	-------------------------

⑦オリンピック・パラリンピック関連事業

○	27	ボクシング体験会	自主	コロナのため中止
○	28	ラグビー体験会	自主	コロナのため中止

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無料	242 164 76
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。 ※新型コロナウイルスの影響により①、②を中止しました。	2,000	
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びます。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無料	
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	無料	51
小学生を対象にスポーツイベントを開催し、専門の指導員によりスポーツの楽しさを経験します。	10,000	259
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施します。	無料	143
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催で行いました。	無料	471

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催します。共催：国立市体育協会 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無料	
今年はA：9.0km、S：12.0kmの2コースになりました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、(公社)国立市シルバー人材センター、カルフォルニアレーズン協会	大人 500 子供 200	387
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図るために開催しました。共催：第31回ダンスコレクション実行委員会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所	指定・ 1,000	238
共催：国立市体育協会 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無料	
全8回の水泳教室です。2021年度から低学年コースを新設した。 共催：国立市	無料	274 11

小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行います。テストは屋内が5種目、屋外が3種目ですが、このうち屋内は3種目、屋外は2種目で行いました。	無料	381
--	----	-----

小学生を対象としたオリンピック種目の体験会として、ボクシングに挑戦します。オリンピック・パラリンピックの機運を醸成します。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無料	
2019年度にスポーツ普及講習事業として開催しましたが、ワールドカップの好成績により開催する。 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無料	

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）  
 [総務課] (決算額 930,000 円)

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名 (団体名)	実施月日
1	0歳からの夏の夕涼み親子コンサート (La Mimosa)	8月30日
2	くにたち映画祭2021 (くにたち映画祭2021実行委員会)	10月24日～11月27日
3	国立市体育協会創立60周年記念事業 (国立市体育協会)	11月27日
4	The Clothesline in Kunitachi (The Clothesline in Kunitachi 実行委員会)	1月14日～20日
5	第45回塞の神どんど焼 (塞の神どんど焼き実行委員会)	1月10日

\* 2021年度は新型コロナウイルス感染防止のため、助成金の申請があった後に  
 事業中止による2件の取り下げがありました。

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）  
 [総務課] (決算額 6,483,790 円)

実施事業 通し番号	報	
	事業名 (団体名)	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
日常育児に追われる父母と、これから様々な情報を吸収していく子どもたちが、周囲を気にせずに生の音楽に触れられるコンサートを実施しました。また、オリジナルの紙芝居を発表しました。	80,000	90
「まちじゅうが映画館」と題して、まちなかの施設や個人カフェ、ミニシアターにて1か月にわたって10作品を上映し、あわせてトークも実施しました。	100,000	707
コロナ禍の影響で記念式典は実施できませんでしたが、創立60周年記念誌を作成、発行し関係者に配布しました。また、60周年にあたり特別功労賞・功労賞を授与しました。	300,000	—
性別による格差や差別などの「声なき声」をひろうアートプロジェクト。展示期間中メディアの取材もあり、大変多くの方の参加がありました。展示前は1枚だったカードも最終的には198枚も吊るされ、関心の高さなどがわかりました。	300,000	7,615
新型コロナウイルスの影響により、当日は一般の方の入場は遠慮いただき、あらかじめ集めた正月飾りを燃やして新型コロナウイルスの撲滅祈願をしました。規模は小さくなりましたが、地域の伝統行事を絶やすことなく事業を継続しました。	150,000	40

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、4ページ6回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入3社15枠 (385,000円)	3,634,755	259,460
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	2,849,035	—

## (6) 総合評価

### (芸術小ホール)

- ・ 新型コロナウイルス拡大の影響を大きく受けた前年度の経験を活かし、一部の事業の中止・縮小をしつつもほぼすべての事業を実施することができました。施設利用制限については対応可能な範囲で徐々に緩和し、客席数についてはほぼ通常時にまで戻すことができました。  
また、文化芸術振興の歩みを止めることなく再開へとつなげようとするアーティスト達の思いを受けとめ、「協力」として当初計画にはなかった3事業に積極的に取り組みました。
- ・ 「芸術環境創造事業」では、大学や市内の小学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。地域の芸術的リソース・芸術家とお互いに協力し合い、連携を今後も一層深め、お互いにとって望ましい関係性を築き活かすことで事業の内容をより充実させていくことを目指します。
- ・ 「芸術振興事業」ではより多くの市民が主体的に芸術活動に関わる機会の増加と内容充実を図り、来年度上演のオペラ参加者の公募と稽古開始を行ったほか、各種ワークショップ、アウトリーチ活動を実施しました。また定番である有料・無料の演奏会や落語会には、コロナ禍の影響で来場を控えていた市民が久しぶりに生の舞台に触れ、多くの喜び・感謝の声が寄せられました。
- ・ 施設・設備の老朽化が頻繁に発生し、予測できない頻度と内容となっており対応負担は増加の一途をたどっています。厳しい状況下、利用者の安全担保を最優先としつつ利便性の向上にひきつづき努めてまいります。
- ・ コロナ感染症拡大・蔓延を機に、人と人とのコミュニケーションのあり方や方法が大きく変化しました。芸術活動の縮小・停止が社会的にも課題視されています。一方、映像等の利用やSNSを活かした広報など、対面ではない形での事業展開方法も見えてきました。地域の文化施設としていかなる状況下でも事業を継続し、より多くの市民が芸術の喜びを味わえる機会と環境を創り続けていくことを推進してまいります。

### (郷土文化館)

- ・ 関頑亭氏逝去一周忌にあわせて実施した春季企画展ですが、開催が決まったのが開催日の5ヶ月ほど前で、準備期間が少ない中での実施となりました。関家の多大な協力のもと早急に準備が進みましたが、本来なら調査等時間に余裕を持って進めるべきであったと反省しました。また、準備段階で関家のアトリエを調査している折、様々な資料が見つかり、中には国立に関わる貴重な資料も含まれていることから郷土文化館としても適宜、アトリエにある貴重な資料の調査をすることが望ましいと考えました。
- ・ 甲野勇展ですが、展示を行ったことで甲野氏に関する新たな資料の発見や、甲野氏関係資料の寄贈にもつながりました。甲野氏の研究分野や活動が多岐に渡ることから、甲野勇氏資料の持つ価値もまた多面的であり、様々な場面での活用が期待できます。今後も、資料整理やデジタル化にあわせて、定期的にデータベースを更新する等、活用の場を模索していきたいと思えます。尚、関連事業として初めての試みとしてオンラインによるミュージアムトークを実施したのですが、通信が不安定で一部音声途切れる事態となってしまいました。今後は事前に十分な準備を心がけたいと思えます。
- ・ 三浦小平二展ですが、当館では過去2回の展示を実施し、今回は13年ぶりの展示となりました。本展示は竹子夫人が代表を務める一般財団法人の多大な協力を得て実施するこ

- とが出来ましたが、今後においても広報活動や展示作品にも広がりを持てることを踏まえ、当該財団法人と連携する形で実施できればと考えています。また、国立市では唯一の人間国宝ですので、適宜、市民に美術作品を公開することが必要であると思います。
- ・アウトリーチ事業として旧国立駅舎内で実施した「円形公園はじまり物語」ですが、旧駅舎広間ということで多くの人が行きかいましたが、そのちょっとした時間をパネルへと惹きつけるため、もっと情報を絞り込み、目に留まりやすい画像や写真をより大きく表示する必要があったと思いました。
  - ・市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいておりますが、今回はコロナ禍ということで会の皆さんと小学生との質問タイムを対面ではなく、リモートで実施したことは良かったと思いました。
  - ・郷土文化館は、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後においても資料収集・調査・研究事業、市民が参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

#### (総合体育館)

- ・2021 年度も新型コロナウイルス対策を行いながら運営を行いました。緊急事態宣言を受け、4月27日から5月31日まで体育館を全館休館としました。また、4月19日から10月17日及び2月1日から3月31日までは、第一体育室が新型コロナワクチン接種会場となったため第一体育室の利用を中止しました。
- ・第一小学校で全学年を対象に体力テスト対策事業として指導者を無料で派遣しました。学校からは、各学年も記録が上がったと聞いており、一定の成果がありました。一方、指導者を無料で派遣しているため、今後費用面での課題が残りました。
- ・小学生初心者水泳教室は、2020年度は高学年だけの開催でしたが、2021年度は新たに低学年コースを設け、泳ぎの苦手な人に水泳の楽しさや泳ぎ方を教え、参加者からは泳げるようになったなどご意見をいただき成果がありました。
- ・小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多く、2021年度からは、財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を開きました。参加者からは泳げるようになった、指導者の指導が丁寧だったなどのご意見をいただき、参加者の泳力を伸ばすことができました。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・有料公園施設は、屋外施設であるため緊急事態宣言中も利用中止は行わず健康増進、体力向上のため施設を開放しました。また、谷保第三公園テニスコートの壁打ちコートについて、テニスコート利用者以外の方も利用できるように、2022年1月4日から一般開放しました。

#### (総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。オアシスへの広告掲載についてはコロナ禍の影響で減少してしまいましたが、掲載依頼等についても引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう努めていきます。

## 2. 指定官理事業

### 国立市との協定による施設の管理運営事業

#### (1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入 コロナウイルス感染症特例措置100%還付613, 100円 (4月～9月申込分)

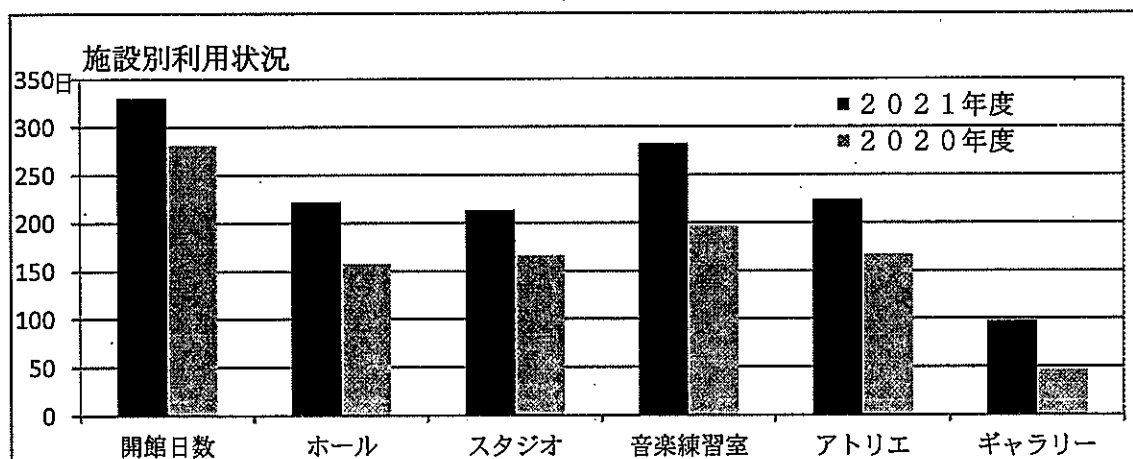
施設名	2021年度			2020年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	5,817,270	5,781,550	11,598,820	2,074,785	4,219,700	6,294,485	5,304,335
スタジオ	1,159,920	599,000	1,758,920	740,275	494,300	1,234,575	524,345
音楽練習室	1,213,820	135,400	1,349,220	484,940	152,900	637,840	711,380
アトリエ	397,800	2,400	400,200	131,650	1,400	133,050	267,150
ギャラリー	438,300	0	438,300	180,000	0	180,000	258,300
合計	9,027,110	6,518,350	15,545,460	3,611,650	4,868,300	8,479,950	7,065,510

#### ・減免利用料

2021年度減免利用料額			2020年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
8,278,300	5,601,200	13,879,500	5,256,600	3,573,050	8,829,650	単位：円
			3,021,700	2,028,150	5,049,850	

#### (イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用者数	
					市内	市外
2021年度 開館日数 330日	ホール	222日	75.8%	254件	232件	22件
	スタジオ	213	67.6	274	240	34
	音楽練習室	282	85.5	388	361	27
	アトリエ	224	68.7	265	264	1
	ギャラリー	97	29.8	97	95	2
	エントランス	30	9.1	30	30	0
	計			1,308	1,222	86
2020年度 開館日数 280日	ホール	157日	56.1%	181件	177件	4件
	スタジオ	166	59.3	220	205	15
	音楽練習室	197	70.4	288	277	11
	アトリエ	167	59.6	191	191	0
	ギャラリー	46	16.4	46	46	0
	エントランス	13	4.6	13	13	0
	計			939	909	30





市民芸術小ホール利用状況

<2021年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2021年 4月	19	19	16	14	13	6	18	21	14	13	11	5	20	5
2021年 5月	13	16	21	10	12	7	14	13	11	12	7	2	9	2
2021年 6月	12	14	10	10	12	10	14	16	13	12	7	4	8	3
2021年 7月	10	13	8	13	11	7	11	8	11	10	8	4	3	3
2021年 8月	13	17	13	16	16	11	17	14	13	12	7	3	4	2
2021年 9月	15	14	13	9	9	7	15	15	15	15	12	5	3	2
2021年 10月	16	20	19	20	17	11	20	21	12	13	10	5	3	1
2021年 11月	15	15	16	12	13	13	22	19	16	15	8	2	7	2
2021年 12月	18	20	20	17	16	17	18	18	15	13	11	5	5	3
2022年 1月	14	13	15	13	14	12	16	13	15	17	10	5	4	2
2022年 2月	18	17	18	17	18	13	21	22	23	20	14	9	10	3
2022年 3月	18	17	16	14	15	18	20	21	23	20	18	16	21	2
合 計	181	195	185	165	166	132	206	201	181	172	123	65	97	30

コロナ対策 《定員》10/24まで定員50%/ 10/25～ ホール・スタジオ：最前列のみ不使用、

音楽練習室：50%、アトリエ：通常定員、ギャラリー：40名

《時間》～5/31 21時以降は控える/～10/24 催し物21時まで、練習20時まで

展示会： 12月10日時点で、3/12～3/31の期間空いている施設を封鎖。

<2020年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2020年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年 5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年 6月	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0
2020年 7月	10	10	9	8	13	6	16	15	11	17	8	4	4	0
2020年 8月	14	16	15	15	15	10	19	16	12	16	10	8	12	6
2020年 9月	7	8	4	9	12	9	17	14	12	16	6	1	1	1
2020年 10月	11	15	17	15	13	11	17	15	11	19	8	2	2	1
2020年 11月	16	19	18	23	17	13	20	20	8	18	6	3	10	1
2020年 12月	16	17	19	18	14	13	17	11	5	18	8	4	2	1
2021年 1月	14	16	18	8	12	10	12	10	14	10	7	2	3	1
2021年 2月	22	22	19	9	18	16	14	14	13	12	11	4	7	1
2021年 3月	15	17	16	15	18	15	15	18	13	11	8	3	4	1
合 計	125	140	135	120	132	103	148	136	99	137	72	31	46	13

※4/4・5、4/8～6/3はコロナウイルス感染症対策として休館。6/4～7は開館、還付業務のみ。

6/8～6/30は閉館前の予約者のみ50%制限で利用。7/1～10/31までは定員50%制限で50%減免。

10/31までに2021/3/31までの施設予約者に50%減免

※7/27～8/7はホール音響設備工事の為利用不可

※2021/1/11～2021/3/31の間定員数50%制限で利用

## (2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

## (ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2021年度	950,700	121,500	1,072,200	1,505,300	23,000	1,528,300
2020年度	819,600	141,000	960,600	1,418,000	16,500	1,434,500
増(一)減	131,100	-19,500	111,600	87,300	6,500	93,800

※2020年度は臨時休館の影響大、2021年度もコロナの影響で施設利用収入微減

## (イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数(年間 336日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2021年度	133	29	162	184	21	205	100	7	107	0	0	0	417	57	474
	2020年度	105	23	128	160	20	180	113	1	114	0	0	0	378	44	422
研修室 1	2021年度	0	1	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	2	5
	2020年度	0	5	5	4	3	7	0	0	0	0	0	0	4	8	12
研修室 2	2021年度	128	32	160	189	42	231	5	7	12	0	0	0	322	81	403
	2020年度	116	42	158	138	45	183	2	4	6	0	0	0	256	91	347
特別展示室	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187	187	0	187	187
	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	176	0	176	176
合 計	2021年度	261	62	323	376	64	440	105	14	119	0	187	187	742	327	1,069
	2020年度	221	70	291	302	68	370	115	5	120	0	176	176	638	319	957

※2021年度もコロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用を継続

※2020年度は4.5月緊急事態宣言による臨時休館中は施設利用も停止(利用可能日が52日減)

## (ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	4	21	17	4	21
2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	3	29	26	3	29

## (エ) 事業収入等状況

年 度	入館者(人)			事業収入等(円)						事業参加者(人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計	
2021年度	17,220	11,062	28,282	0	79,300	676,500	15,640	771,440	344	22,884	23,228	
2020年度	13,156	8,349	21,505	0	77,800	1,028,500	24,020	1,130,320	188	10,502	10,690	
増(一)減	4,064	2,713	6,777	0	1,500	-352,000	-8,380	-358,880	156	12,382	12,538	

※2020年度は4.5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間(2021年度57日間)

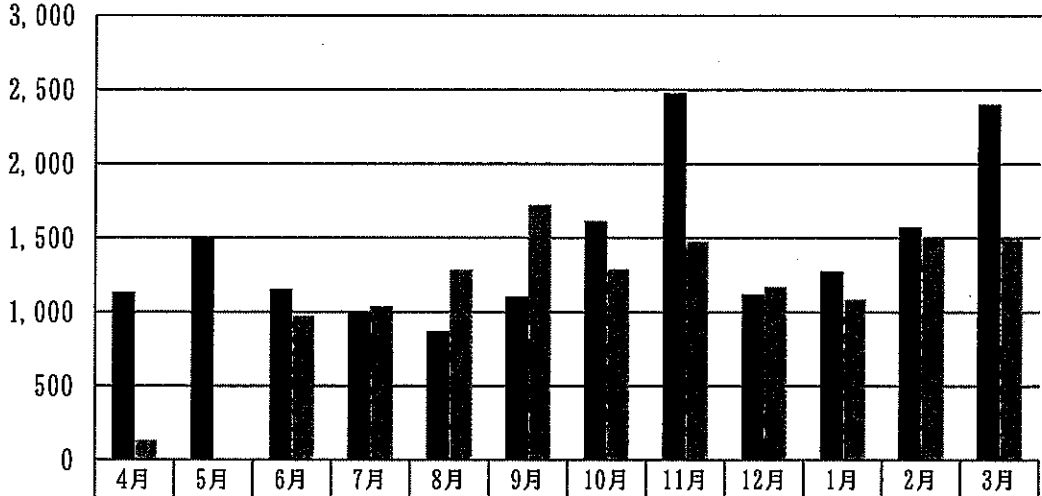
※2021年度もコロナの影響でいくつかのイベントを自粛

※2020年度は旧駅舎再築関連の図録売上が大きく貢献(特に旧国立駅舎において)

※2021年度の事業参加者増は、旧国立駅舎でのイベントが大きく寄与

単位：人

郷土文化館  
入館者数

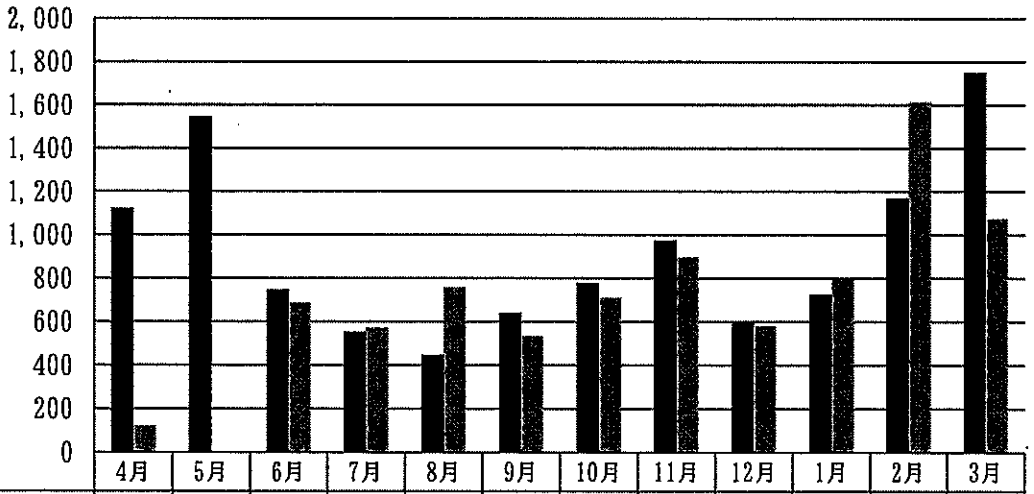


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
■2021年度開館日336日	17,220人	1,131	1,510	1,154	995	868	1,103	1,613	2,476	1,121	1,274	1,575	2,400
■2020年度開館日284日	13,156人	130	0	973	1,037	1,282	1,721	1,287	1,475	1,168	1,082	1,511	1,490

※2020年度は4、5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間（2021年度57日間）  
 ※2021年度もJR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントが一部中止  
 ※2021年度も、コロナ自粛の影響で入館者数減

単位：人

古民家  
入館者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
■2021年度開館日336日	11,062人	1,123	1,546	748	553	447	639	779	975	605	725	1,171	1,751
■2020年度開館日284日	8,349人	122	0	686	572	756	534	709	897	579	804	1,616	1,074

※2020年度は4、5月緊急事態宣言による臨時休館により開館日が5日間（2021年度57日間）  
 ※2021年度もコロナの影響で「里山フェスタ」など集客が期待できるイベントが一部中止  
 ※2021年度も、コロナ自粛の影響で入館者数減

## (3) 市民総合体育館の利用状況 (開館日数: 336日)

4/19~10/17及び2/1~3/31 新型コロナウイルスワクチン接種会場のため第一体育室閉鎖

4/27~5/31 緊急事態宣言のため全館閉鎖

## ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2021年度	16,281,200	13,560,271	29,841,471	2,102,900	3,500,550	90,100	5,693,550
2020年度	18,457,650	6,778,320	25,235,970	1,589,500	3,309,600	94,700	4,993,800
増減	-2,176,450	6,781,951	4,605,501	513,400	190,950	-4,600	699,750

## イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2021年度	10,826	2,553	13,379	17,287	6,219	44	23,550
2020年度	20,194	3,828	24,022	12,059	6,339	18	18,416
増減	-9,368	-1,275	-10,643	5,228	-120	26	5,134

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2021年度	16,741	10,588	249	27,578	44,854	19,360	293	64,507
2020年度	19,711	8,168	293	28,172	51,964	18,335	311	70,610
増減	-2,970	2,420	-44	-594	-7,110	1,025	-18	-6,103

## ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一~三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2021年度	1,878	29,629	535	10,995	237	3,022	13
2020年度	2,014	30,984	325	7,253	512	6,764	4
増減	-136	-1,355	210	3,742	-275	-3,742	9

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2021年度	2,663	43,646
2020年度	2,855	45,001
増減	-192	-1,355

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2021年度	108,859
2020年度	116,486
増(-)減	-7,627

## エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
	198件	706人

駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	15,064台	44.8台

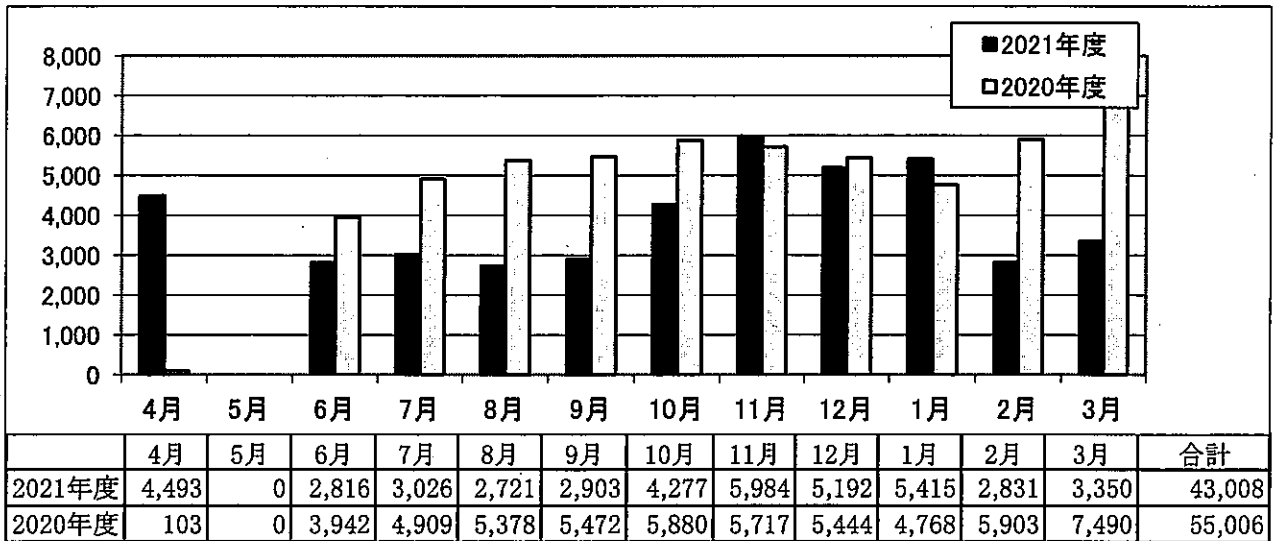
## オ く にたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 183日)

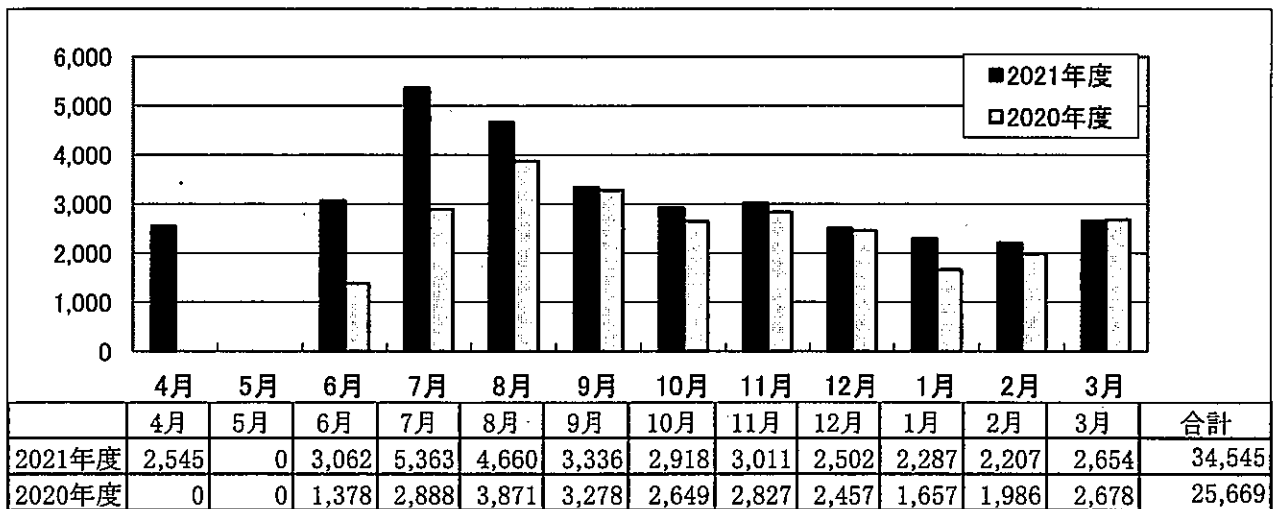
	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2021年度	840,300	375,000	11,100	22,200	408,300	1,630	2,500	37	74	4,241
2020年度	742,000	264,150	12,900	30,900	307,950	1,638	1,761	43	103	3,545
増減	98,300	110,850	-1,800	-8,700	100,350	-8	739	-6	-29	696

カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)

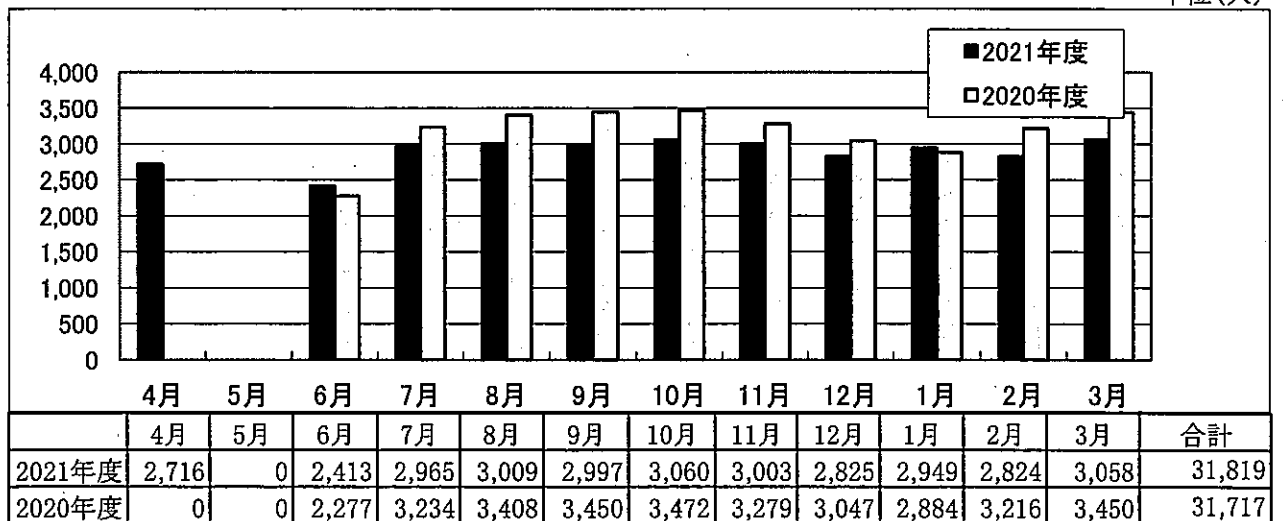


キ 室内プール月別利用状況



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



## (4) 有料公園施設等の利用状況

## ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2021年度	19,118,050	1,533,025	425,750	21,076,825
2020年度	16,007,550	930,175	312,000	17,249,725

## 減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2021年度	481,800	2,510,950	534,950	3,527,700
2020年度	91,800	2,794,175	647,400	3,533,375

## イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2021年度	8,853	8,381	12,424	29,658
2020年度	7,623	7,132	10,359	25,114

## テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2021年度	81.16%	76.50%	72.10%	76.59%
2020年度	75.70%	71.05%	66.61%	71.12%

## ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2021年度	2,307	3,357	1,373	7,037	1,821	8,858
2020年度	2,100	2,978	1,209	6,287	1,504	7,791

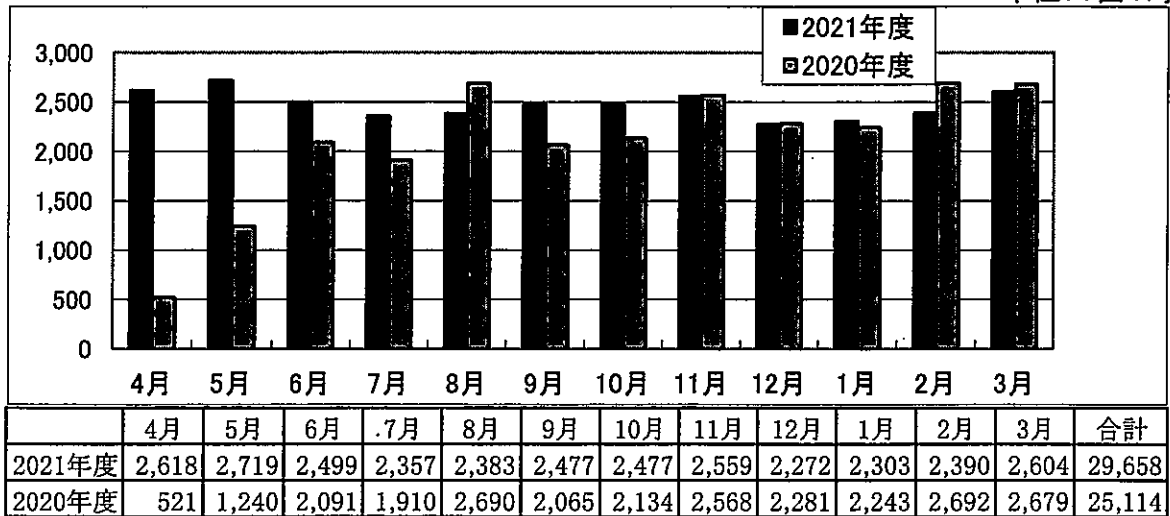
## 野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2021年度	63.08%	47.07%	47.17%	51.36%	50.04%	51.09%
2020年度	64.77%	46.41%	47.21%	52.80%	46.59%	51.25%

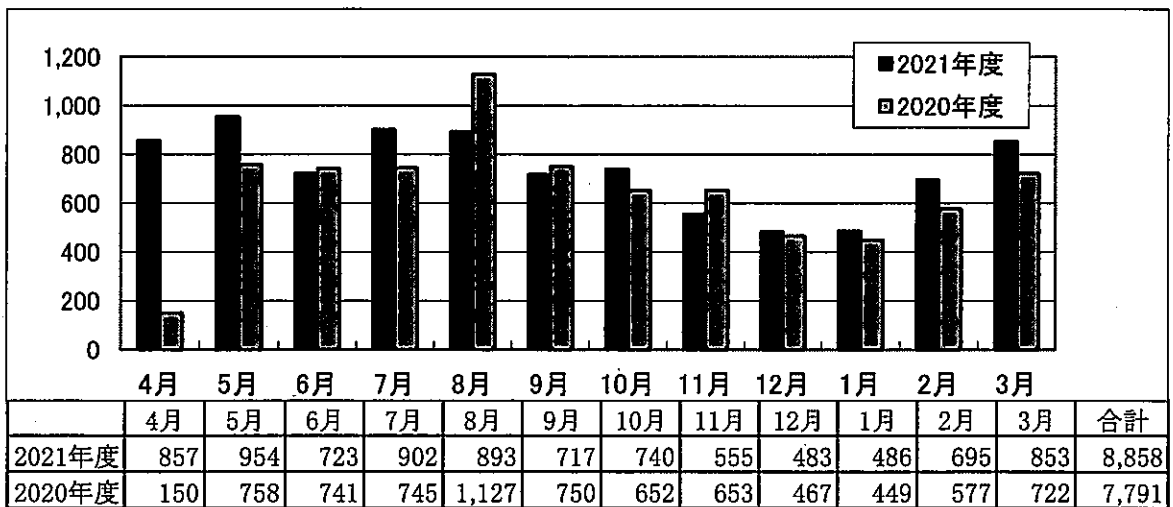
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位:1面1時



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位:1面1時間



### 3. 管 理

#### (1) 役員及び役員会等に関する事業

##### ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

##### (ア) 理事

(2022年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	竹内光博	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	池田良二	〃	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	金子一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	近藤佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会副会長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	橋本祐幸	〃	〃	国立市教育委員会次長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長

##### (イ) 監事

(2022年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長



## (ウ) 評議員

(2022年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	宇治康	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎良一	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	宍戸彰	〃	〃	くにたち市民オーケストラ団員
〃	山井佳代子	〃	〃	会社会長
〃	和田哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

## イ. 理事会等の開催

## (ア) 理事会

## a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2021年5月14日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 2020年度事業報告(案) 第3号議案 2020年度決算(案) 第4号議案 理事候補者(案) 第5号議案 評議員候補者(案)	可決 可決 可決 可決 可決
2021年5月19日	第6号議案 理事候補者(案)	可決
2021年5月31日	第7号議案 理事長及び常務理事の選定(案)	可決
2021年10月13日	第8号議案 臨時評議員会の招集(案)	可決
2022年2月17日	第9号議案 臨時評議員会の招集(案) 第10号議案 2022年度事業計画書(案) 第11号議案 2022年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類(案)	可決 可決 可決

## b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2021年10月13日	協議事項① 2022年度事業計画作成に伴う協議	

## c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2021年5月14日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2021年10月13日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2022年2月17日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 就業規程の一部改正について 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

## (イ) 評議員会

## a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2021年5月31日	第1号議案 2020年度決算案 第2号議案 理事の選任 第3号議案 評議員の選任	可決 可決 可決
2022年2月25日	第4号議案 2022年度事業計画案 第5号議案 2022年度収支予算案と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決

## b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2021年10月29日	協議事項① 2022年度事業計画作成に伴う協議	

## c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2021年5月31日	報告事項① 2020年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況について 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用状況について	
2021年10月29日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について	
2022年2月25日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 就業規程の一部改正について 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

※その他の報告事項は含みません。

(ウ) 監査

開催年月日	監査事項
2021年5月7日 決算監査	2020年度決算書 2020年度事業報告書
2021年11月8日 中間監査	2021年度収支決算書(上半期分) 2021年度事業報告書(上半期分)



2021年度

# 決 算 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

## < 目 次 >

1	貸借対照表	P. 1
2	正味財産増減計算書	P. 2
3	正味財産増減計算書会計別	P. 4
4	正味財産増減計算書内訳表	P. 6
5	財務諸表に対する注記	P. 8
6	付属明細書	P. 11
7	財産目録	P. 12

# 貸借対照表

2022年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	42,735,073	42,843,460	△ 108,387
現金	735,947	691,159	44,788
貯蔵品	37,587	0	37,587
普通預金	11,961,539	12,152,301	△ 190,762
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
未収金	5,982,110	10,984,198	△ 5,002,088
前払金	213,600	502,010	△ 288,410
販売品	1,175,866	1,324,637	△ 148,771
流動資産合計	50,106,649	55,654,305	△ 5,547,656
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	312,249,979	312,249,979	0
基本財産合計	312,249,979	312,249,979	0
(2) 特定資産			
くにたちアートビエンナーレ特定資産	295,689	295,689	0
特定資産合計	295,689	295,689	0
(3) その他固定資産			
リース資産	13,698,368	19,476,224	△ 5,777,856
その他固定資産合計	13,698,368	19,476,224	△ 5,777,856
固定資産合計	326,244,036	332,021,892	△ 5,777,856
資産合計	376,350,685	387,676,197	△ 11,325,512
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	31,140,321	37,716,205	△ 6,575,884
前受金	2,097,010	1,256,600	840,410
預り金	617,428	696,486	△ 79,058
賞与引当金	4,719,000	2,939,000	1,780,000
流動負債合計	38,573,759	42,608,291	△ 4,034,532
2. 固定負債			
リース債務	13,698,368	19,476,224	△ 5,777,856
固定負債合計	13,698,368	19,476,224	△ 5,777,856
負債合計	52,272,127	62,084,515	△ 9,812,388
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	312,545,668	312,545,668	0
(うち基本財産への充当額)	312,249,979	312,249,979	0
(うち特定資産への充当額)	295,689	295,689	0
2. 一般正味財産	11,532,890	13,046,014	△ 1,513,124
正味財産合計	324,078,558	325,591,682	△ 1,513,124
負債及び正味財産合計	376,350,685	387,676,197	△ 11,325,512

# 正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	171,600	6,855	164,745
基本財産受取利息	171,600	6,855	164,745
定期預金受取利息	171,600	6,855	164,745
特定資産運用益	0	4	△ 4
特定資産受取利息	0	4	△ 4
定期預金受取利息	0	4	△ 4
事業収益	347,162,167	334,221,871	12,940,296
自主・共催事業収益	10,886,960	6,685,230	4,201,730
国立市指定管理料収益	258,400,000	265,901,000	△ 7,501,000
国立市受託料収益	7,636,000	7,530,000	106,000
利用料金収益	68,701,856	52,811,895	15,889,961
広告料収益	481,000	265,000	216,000
付帯サービス事業収益	1,056,351	1,028,746	27,605
受取補助金等	64,251,124	69,270,304	△ 5,019,180
国立市補助金収益	63,088,000	67,885,000	△ 4,797,000
国等助成金収入	1,081,424	0	1,081,424
受取民間助成金振替額	0	681,000	△ 681,000
受取民間助成金	81,700	0	81,700
受取国等助成振替額	0	704,304	△ 704,304
財政調整積立	0	44,612	△ 44,612
財政調整積立振替額	0	44,612	△ 44,612
雑収益	666,290	3,078,851	△ 2,412,561
受取利息	1,113	1,429	△ 316
定期預金受取利息	592	993	△ 401
普通預金受取利息	521	436	85
雑収入	665,177	3,077,422	△ 2,412,245
経常収益計	412,251,181	406,622,497	5,628,684
(2) 経常費用			
事業費	404,841,798	393,323,658	11,518,140
報酬	46,164,772	49,088,333	△ 2,923,561
給料手当	57,735,865	59,527,599	△ 1,791,734
法定福利費	12,907,806	12,856,140	51,666
臨時雇賃金	2,680,650	2,211,433	469,217
福利厚生費	675,484	600,334	75,150
旅費交通費	2,326,538	180,345	2,146,193
会議費	44,447	68,366	△ 23,919
通信運搬費	3,003,649	2,735,118	268,531
消耗品費	8,696,916	11,680,562	△ 2,983,646
印刷製本費	2,705,540	3,586,210	△ 880,670
修繕費	15,628,474	19,223,508	△ 3,595,034
光熱水料費	42,951,822	34,606,748	8,345,074
燃料費	184,503	148,824	35,679
賃借料	9,662,087	10,512,679	△ 850,592
保険料	863,032	854,432	8,600
諸謝金	4,698,895	4,336,931	361,964
手数料	1,972,083	3,371,885	△ 1,399,802
租税公課	11,301,600	2,515,900	8,785,700
広告宣伝費	382,800	409,552	△ 26,752
支払助成金	1,030,000	330,000	700,000
委託料	165,574,971	165,135,006	439,965
支払負担金	383,574	545,262	△ 161,688
減価償却費	5,777,856	6,106,941	△ 329,085
雑費	103,413	110,550	△ 7,137
ソフトウェア関連	3,178,021	0	3,178,021
賞与引当金繰入	4,207,000	2,581,000	1,626,000



科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	4,701,910	4,226,787	475,123
報酬	1,224,376	581,430	642,946
役員報酬	675,200	704,700	△ 29,500
給料手当	1,745,963	1,852,625	△ 106,662
法定福利費	296,067	279,541	16,526
旅費交通費	36,000	0	36,000
会議費	0	5,500	△ 5,500
通信運搬費	△ 4,274	9,440	△ 13,714
消耗品費	23,870	74,118	△ 50,248
諸謝金	15,704	15,704	0
手数料	0	5,720	△ 5,720
支払負担金	141,300	150,900	△ 9,600
委託料	35,704	189,109	△ 153,405
賞与引当金繰入	512,000	358,000	154,000
返還金	4,150,597	7,488,928	△ 3,338,331
国立市補助金返還金	20,856	2,768,158	△ 2,747,302
事業費補助金返還金	20,856	2,563,440	△ 2,542,584
管理費補助金返還金	0	204,718	△ 204,718
国立市指定管理料返還金	3,859,403	4,683,472	△ 824,069
芸術小ホール指定管理料返還金	23,652	75,689	△ 52,037
郷土文化館指定管理料返還金	43,162	676,878	△ 633,716
総合体育館指定管理料返還金	27,712	3,930,905	△ 3,903,193
有料公園指定管理料返還金	3,764,877	0	3,764,877
国立市委託料返還金	270,338	37,298	233,040
市内遺跡整理調査業務受託事業費返還金	68,446	37,298	31,148
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返還金	201,892	0	201,892
経常費用計	413,694,305	405,039,373	8,654,932
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,443,124	1,583,124	△ 3,026,248
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,443,124	1,583,124	△ 3,026,248
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,443,124	1,583,124	△ 3,026,248
法人税等	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,513,124	1,513,124	△ 3,026,248
一般正味財産期首残高	13,046,014	11,532,890	1,513,124
一般正味財産期末残高	11,532,890	13,046,014	△ 1,513,124
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	1,385,304	△ 1,385,304
受取民間助成金	0	681,000	△ 681,000
国等助成金収入	0	704,304	△ 704,304
一般正味財産への振替額	0	△ 1,429,916	1,429,916
一般正味財産への振替額	0	△ 1,429,916	1,429,916
国等助成金収入	0	△ 704,304	704,304
財政調整積立	0	△ 44,612	44,612
民間助成金	0	△ 681,000	681,000
当期指定正味財産増減額	0	△ 44,612	44,612
指定正味財産期首残高	312,545,668	312,590,280	△ 44,612
指定正味財産期末残高	312,545,668	312,545,668	0
III 正味財産期末残高	324,078,558	325,591,682	△ 1,513,124

# 正味財産増減計算書会計別

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	171,600	0	0	171,600
基本財産受取利息	171,600	0	0	171,600
定期預金受取利息	171,600	0	0	171,600
事業収益	336,465,816	10,696,351	0	347,162,167
自主・共催事業収益	10,886,960	0	0	10,886,960
国立市指定管理料収益	250,930,000	7,470,000	0	258,400,000
国立市受託料収益	7,636,000	0	0	7,636,000
利用料金収益	66,531,856	2,170,000	0	68,701,856
広告料収益	481,000	0	0	481,000
付帯サービス事業収益	0	1,056,351	0	1,056,351
受取補助金等	59,479,214	0	4,771,910	64,251,124
国立市補助金収益	58,316,090	0	4,771,910	63,088,000
国等助成金収入	1,081,424	0	0	1,081,424
受取民間助成金	81,700	0	0	81,700
雑収益	607,280	59,010	0	666,290
受取利息	1,113	0	0	1,113
定期預金受取利息	592	0	0	592
普通預金受取利息	521	0	0	521
雑収入	606,167	59,010	0	665,177
経常収益計	396,723,910	10,755,361	4,771,910	412,251,181
(2) 経常費用				
事業費	394,086,437	10,755,361	0	404,841,798
報酬	44,645,031	1,519,741	0	46,164,772
給料手当	57,245,865	490,000	0	57,735,865
法定福利費	12,797,806	110,000	0	12,907,806
臨時雇賃金	2,680,650	0	0	2,680,650
福利厚生費	675,484	0	0	675,484
旅費交通費	2,326,538	0	0	2,326,538
会議費	44,447	0	0	44,447
通信運搬費	3,003,649	0	0	3,003,649
消耗品費	7,918,301	778,615	0	8,696,916
印刷製本費	2,705,540	0	0	2,705,540
修繕費	15,298,474	330,000	0	15,628,474
光熱水料費	41,481,822	1,470,000	0	42,951,822
燃料費	184,503	0	0	184,503
賃借料	9,482,087	180,000	0	9,662,087
保険料	863,032	0	0	863,032
諸謝金	4,698,895	0	0	4,698,895
手数料	1,682,158	289,925	0	1,972,083
租税公課	11,041,600	260,000	0	11,301,600
広告宣伝費	382,800	0	0	382,800
支払助成金	1,030,000	0	0	1,030,000
委託料	160,247,891	5,327,080	0	165,574,971
支払負担金	383,574	0	0	383,574
減価償却費	5,777,856	0	0	5,777,856
雑費	103,413	0	0	103,413
ソフトウェア関連	3,178,021	0	0	3,178,021
賞与引当金繰入	4,207,000	0	0	4,207,000

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
管理費	0	0	4,701,910	4,701,910
報酬	0	0	1,224,376	1,224,376
役員報酬	0	0	675,200	675,200
給料手当	0	0	1,745,963	1,745,963
法定福利費	0	0	296,067	296,067
旅費交通費	0	0	36,000	36,000
通信運搬費	0	0	△ 4,274	△ 4,274
消耗品費	0	0	23,870	23,870
諸謝金	0	0	15,704	15,704
支払負担金	0	0	141,300	141,300
委託料	0	0	35,704	35,704
賞与引当金繰入	0	0	512,000	512,000
返還金	4,150,597	0	0	4,150,597
国立市補助金返還金	20,856	0	0	20,856
事業費補助金返還金	20,856	0	0	20,856
国立市指定管理料返還金	3,859,403	0	0	3,859,403
芸術小ホール指定管理料返還金	23,652	0	0	23,652
郷土文化館指定管理料返還金	43,162	0	0	43,162
総合体育館指定管理料返還金	27,712	0	0	27,712
有料公園指定管理料返還金	3,764,877	0	0	3,764,877
国立市委託料返還金	270,338	0	0	270,338
市内遺跡整理調査業務受託事業費返還金	68,446	0	0	68,446
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返還金	201,892	0	0	201,892
経常費用計	398,237,034	10,755,361	4,701,910	413,694,305
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,513,124	0	70,000	△ 1,443,124
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,513,124	0	70,000	△ 1,443,124
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,513,124	0	70,000	△ 1,443,124
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,513,124	0	70,000	△ 1,443,124
法人税等	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,513,124	0	0	△ 1,513,124
一般正味財産期首残高	1,513,124	2,032,890	9,500,000	13,046,014
一般正味財産期末残高	0	2,032,890	9,500,000	11,532,890
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	312,545,668	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	312,545,668	0	0	312,545,668
III 正味財産期末残高	312,545,668	2,032,890	9,500,000	324,078,558

# 正味財産増減計算書内訳表

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業費	郷土文化事業費	ｽｰﾌﾟﾌﾟﾛｼﾞｪｸｼｮﾝ	小計	付帯サービス事業	施設管理運営	管理費	
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	171,600	171,600	0	0	0	171,600
基本財産受取利息	0	0	171,600	171,600	0	0	0	171,600
定期預金受取利息	0	0	171,600	171,600	0	0	0	171,600
事業収益	83,656,530	57,595,650	195,213,636	336,465,816	1,056,351	9,640,000	0	347,162,167
自主・共催事業収益	2,893,470	771,450	7,222,040	10,886,960	0	0	0	10,886,960
国上市指定管理料収益	65,593,000	53,591,000	131,746,000	250,930,000	0	7,470,000	0	258,400,000
国上市受託料収益	0	2,000,000	5,636,000	7,636,000	0	0	0	7,636,000
利用料金収益	15,011,060	1,072,200	50,448,596	66,531,856	0	2,170,000	0	68,701,856
広告知料収益	159,800	161,000	161,000	481,800	0	0	0	481,800
付帯サービス事業収益	0	0	0	0	1,056,351	0	0	1,056,351
受取補助金等	22,503,154	25,336,030	11,640,030	59,479,214	0	0	4,771,910	64,251,124
国上市補助金収益	21,340,830	25,336,030	11,640,030	58,316,890	0	0	4,771,910	63,088,800
国等助成金収入	1,081,424	0	0	1,081,424	0	0	0	1,081,424
受取民間助成金	81,700	0	0	81,700	0	0	0	81,700
雑収益	0	26,413	580,867	607,280	59,010	0	0	666,290
受取利息	0	0	1,113	1,113	0	0	0	1,113
定期預金受取利息	0	0	592	592	0	0	0	592
普通預金受取利息	0	0	521	521	0	0	0	521
雑収入	0	26,413	579,754	606,167	59,010	0	0	665,177
経常収益計	106,159,684	82,958,093	207,606,133	396,723,910	1,115,361	9,640,000	4,771,910	412,251,181
(2) 経常費用								
事業費	106,118,482	82,846,112	205,121,843	394,086,437	1,115,361	9,640,000	0	404,841,798
報酬	18,481,135	9,733,862	16,430,034	44,645,031	215,741	1,304,000	0	46,164,772
給料手当	13,841,663	25,147,971	18,256,231	57,245,865	0	490,000	0	57,735,865
法定福利費	3,619,620	5,139,538	4,038,648	12,797,806	0	110,000	0	12,907,806
臨時雇賃金	712,448	1,788,917	179,285	2,680,650	0	0	0	2,680,650
福利厚生費	212,871	214,223	248,390	675,484	0	0	0	675,484
旅費交通費	800,241	906,241	620,056	2,326,538	0	0	0	2,326,538
会議費	32,694	11,753	0	44,447	0	0	0	44,447
通信運搬費	1,177,404	949,678	876,567	3,003,649	0	0	0	3,003,649
消耗品費	1,339,024	2,048,735	4,530,542	7,918,301	489,615	289,000	0	8,696,916
印刷製本費	966,080	1,138,941	600,519	2,705,540	0	0	0	2,705,540
修繕費	1,427,210	1,613,942	12,257,322	15,298,474	0	330,000	0	15,628,474
光熱水料費	7,359,227	3,601,008	30,521,587	41,481,822	0	1,470,000	0	42,951,822
燃料費	0	27,155	157,348	184,503	0	0	0	184,503
賃借料	3,911,197	1,197,063	4,373,827	9,482,087	0	180,000	0	9,662,087
保険料	214,910	223,842	424,280	863,032	0	0	0	863,032
贈謝金	2,598,292	363,076	1,737,527	4,698,895	0	0	0	4,698,895
手数料	1,126,155	241,895	314,108	1,682,158	213,925	76,000	0	1,972,083
租税公課	2,455,093	2,287,939	6,288,568	11,041,600	50,000	210,000	0	11,301,600
広告宣伝費	323,400	59,400	0	382,800	0	0	0	382,800
支払助成金	337,000	337,000	356,000	1,030,000	0	0	0	1,030,000
委託料	41,642,341	21,615,181	96,990,369	160,247,891	146,080	5,181,000	0	165,574,971
支払負担金	82,333	49,333	251,908	383,574	0	0	0	383,574
減価償却費	0	2,522,266	3,255,600	5,777,856	0	0	0	5,777,856
雑費	57,011	13,548	32,853	103,413	0	0	0	103,413
ソフトウェア関連	1,727,800	556,281	893,940	3,178,021	0	0	0	3,178,021
賞与引当金繰入	1,673,333	1,057,333	1,476,334	4,207,000	0	0	0	4,207,000

科 目	公益目的会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業費	郷土文化事業費	ｽｰﾌﾟｸﾞｲｰｼﾞｮﾝ	小計	付帯ﾋﾞｼﾞﾈｽ事業	施設管理運営	管理費	
管理費	0	0	0	0	0	0	4,701,910	4,701,910
報酬	0	0	0	0	0	0	1,224,376	1,224,376
役員報酬	0	0	0	0	0	0	675,200	675,200
給料手当	0	0	0	0	0	0	1,745,963	1,745,963
法定福利費	0	0	0	0	0	0	296,067	296,067
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	36,000	36,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	△ 4,274	△ 4,274
消耗品費	0	0	0	0	0	0	23,870	23,870
贈謝金	0	0	0	0	0	0	15,704	15,704
支払負担金	0	0	0	0	0	0	141,300	141,300
委託料	0	0	0	0	0	0	35,704	35,704
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	512,000	512,000
返還金	41,202	111,981	3,997,414	4,150,597	0	0	0	4,150,597
国立市補助金返還金	17,550	373	2,933	20,856	0	0	0	20,856
事業費補助金返還金	17,550	373	2,933	20,856	0	0	0	20,856
国立市指定管理料返還金	23,652	43,162	3,792,589	3,859,403	0	0	0	3,859,403
芸術小ｽｰﾌﾟ指定管理料返還金	23,652	0	0	23,652	0	0	0	23,652
郷土文化館指定管理料返還金	0	43,162	0	43,162	0	0	0	43,162
総合体育館指定管理料返還金	0	0	27,712	27,712	0	0	0	27,712
有料公園指定管理料返還金	0	0	3,764,877	3,764,877	0	0	0	3,764,877
国立市委託料返還金	0	68,446	201,892	270,338	0	0	0	270,338
市内遺跡整理調査業務受託事業費返還金	0	68,446	0	68,446	0	0	0	68,446
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返	0	0	201,892	201,892	0	0	0	201,892
経常費用計	106,159,684	82,958,093	209,119,257	398,237,034	1,115,361	9,640,000	4,701,910	413,694,305
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	△ 1,513,124	△ 1,513,124	0	0	70,000	△ 1,443,124
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	△ 1,513,124	△ 1,513,124	0	0	70,000	△ 1,443,124
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 1,513,124	△ 1,513,124	0	0	70,000	△ 1,443,124
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 1,513,124	△ 1,513,124	0	0	70,000	△ 1,443,124
法人税等	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 1,513,124	△ 1,513,124	0	0	0	△ 1,513,124
一般正味財産期首残高	0	0	1,513,124	1,513,124	2,032,890	0	9,500,000	13,046,014
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	2,032,890	0	9,500,000	11,532,890
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	312,545,668	0	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	312,545,668	0	0	0	312,545,668
III 正味財産期末残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	312,545,668	2,032,890	0	9,500,000	324,078,558

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
販売品は、最終仕入れ原価法に基づく原価方式を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式による。消費税については、中間納付及び確定申告分を納付した日の所属する会計年度に計上している。
- (4) 国立市からの補助金収入及び指定管理料等収入は、積算根拠に基づき、対象事業費を精査する。
  - ア 国立市から交付を受けた補助金と事業年度中に発生した補助金対象経費との差額は、必要に応じて一定額を次期繰越金収支差額とし、その他は、返還する。
  - イ 国立市からの指定管理料収入と事業年度中に発生した指定管理事業費との差額は、返還する。
  - ウ 国立市からの受託事業委託料収入と事業年度中に発生した受託事業費との差額は、返還する。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	312,249,979	0	0	312,249,979
小 計	312,249,979	0	0	312,249,979
<b>特定資産</b>				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	0	0	295,689
小 計	295,689	0	0	295,689
合 計	312,545,668	0	0	312,545,668

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	312,249,979	312,249,979		
小 計	312,249,979	312,249,979		
特定資産				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	295,689		
小 計	295,689	295,689		
合 計	312,545,668	312,545,668		

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

リース資産科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
OA 機器および収蔵品 管理システム	12,611,280	5,044,512	7,566,768
ワゴン車	3,965,024	3,869,544	95,480
総合体育館ラットプル ダウン他一式	13,413,600	7,377,480	6,036,120
合 計	29,989,904	16,291,536	13,698,368

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上
補助金						
管理費補助金	国立市	0	4,771,910	4,771,910	0	
事業費補助金	国立市	0	58,316,090	58,316,090	0	
助成金						
事業費助成金	国	0	1,081,424	1,081,424	0	
事業費助成金	民間等	0	81,700	81,700	0	

6 正味財産増減計算書科目の表示変更

前年度まで事業費、管理費の「手数料」「賃借料」で計上していたソフトウェア関連費用を新設した勘定科目「ソフトウェア関連」に計上している。今期よりサイボウズ office から Garoon へ移行したこと等契約形態が変わりソフトウェア関連に係る費用の管理の合理化及び統一化にするため同勘定科目で管理する。



付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(多摩信用金庫/国立)	112,249,979	0	0	112,249,979
	定期預金(JA東京みどり)	200,000,000	0	0	200,000,000
	基本財産計	312,249,979	0	0	312,249,979
特定資産	くにたちアートビエンナーレ事業預金 (多摩信用金庫/国立)	295,689	0	0	295,689
	特定資産計	295,689	0	0	295,689

# 財産目録

2022年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として保有している	773,534	
		手持現金		195,947	
	預金	釣銭現金		540,000	
		貯蔵品	切手等の在庫	37,587	
		普通預金		11,961,539	
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	9,455,173	
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	407,739	
		(基本財産口)			
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	2,249	
		(ビエンナーレ口)			
		ゆうちょ銀行	運転資金として保有している	1,926,998	
		JA東京みどり	運転資金として保有している	169,380	
		定期預金		30,000,000	
多摩信 国立支店	運転資金として保有している	30,000,000			
未収金	3月分利用料金等	利用料金、グッズ代金等	5,982,110		
前払金	5、6月分チラシ印刷代等	公益目的事業用チラシ印刷代金等	213,600		
販売品	収益事業に対する 棚卸資産	収益事業用の在庫	1,175,866		
流動資産合計				50,106,649	
(固定資産) 基本財産	預金	定期預金		312,249,979	
		多摩信用金庫 国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業の財源として使用している	112,249,979	
		JA東京みどり 国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業の財源として使用している	200,000,000	
	特定資産	預金	定期預金		295,689
			多摩信用金庫 国立支店 *ビエンナーレ口に預入	くにたちアートビエンナーレ事業預金	295,689
その他固定資産	リース資産	郷土文化館OA機器 郷土文化館車両 体育館トレーニング機器 体育館ラットマシン	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	13,698,368	
固定資産合計				326,244,036	
資産合計				376,350,685	
(流動負債)	未払金 前受金	嘱託報酬等の未払金	嘱託報酬等の未払金	31,140,321	
		事業に対応するラット代 収入等	次年度事業参加費収入などの前受収入	2,097,010	
	預り金	職員	社会保険料、所得税源泉徴収金等の預り金	617,428	
		健康保険料		30,814	
		厚生年金		55,993	
		雇用保険料		246,888	
		源泉所得税		142,905	
事業源泉所得税 賞与引当金		固有職員嘱託員夏期賞与引当金	140,828 4,719,000		
流動負債合計				38,573,759	
(固定負債)	リース債務	郷土文化館OA機器 郷土文化館車両 体育館トレーニング機 体育館ラットマシン	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	13,698,368	
固定負債合計				13,698,368	
負債合計				52,272,127	
正味財産				324,078,558	

2022年5月6日

## 監査報告書

公益財団法人 くにたち文化・スポーツ振興財団  
代表理事 竹内光博様

監事

佐藤 収 一

監事

木村 淳 二

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



2022年度

# 事業計画書

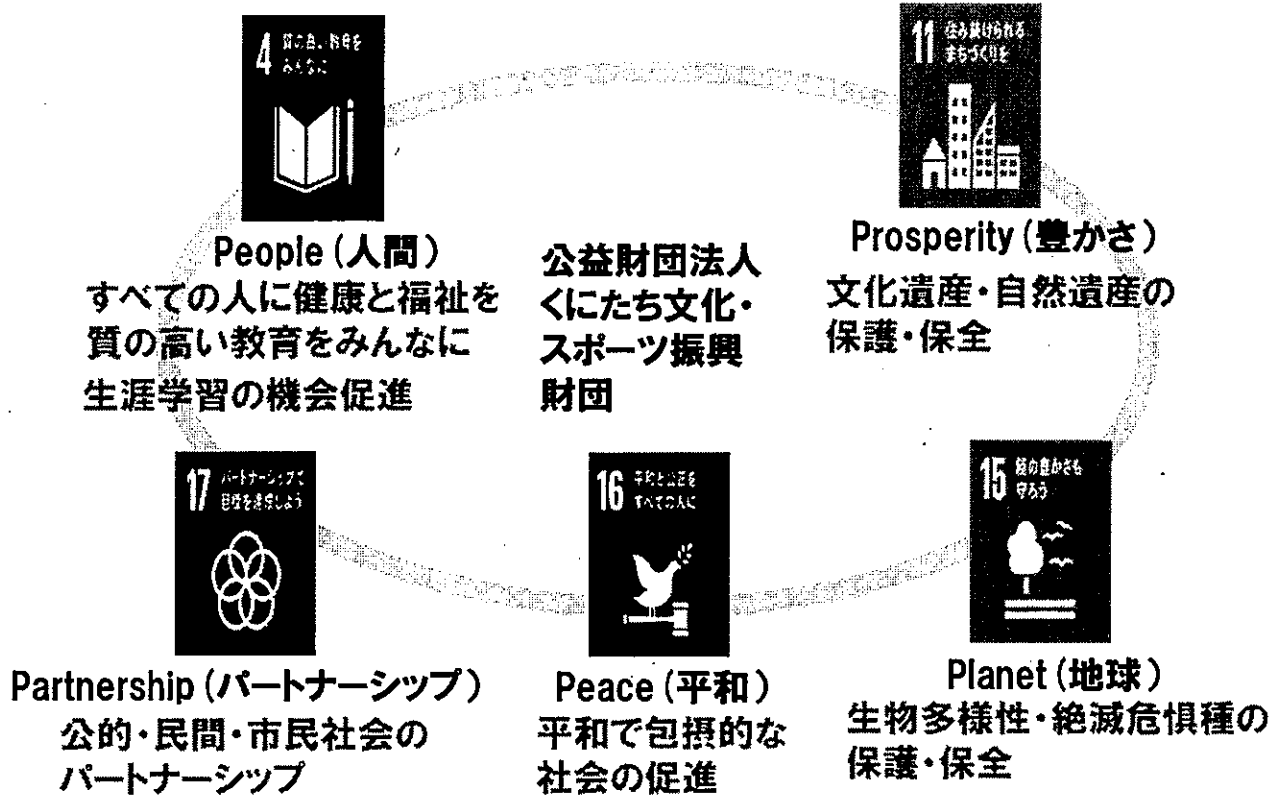
公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

## 事業体系

### くにたち文化・スポーツ振興財団の事業とSDGsとの関係

事業計画の概要	( 1 )
I. 公益事業	( 2 )
1. 市民芸術小ホール	( 2 )
2. 郷土文化館	( 5 )
3. 市民総合体育館	( 7 )
4. 共通公益事業（総務課）	( 9 )
5. 指定管理事業（各館共通）	( 9 )
II. 収益事業等	( 9 )
1. 付帯サービス事業	( 9 )
2. その他の事業	( 9 )
III. 管理（法人管理事業）	( 10 )
1. 役員及び役員会等に関する事業	( 10 )
事業計画の内訳	( 11 )
自主・共催事業	( 11 )
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	( 11 )
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業	( 15 )
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	( 19 )

SDGs 相関図



SDGs は大きく「5つのP」に分けることができます。これは People (人間)、Prosperity (豊かさ)、Planet (地球)、Peace (平和)、Partnership (パートナーシップ) の頭文字をとったものを意味し、これらをさらに細分化したものが17のゴールです。

当財団の事業とのかかわりで見ると「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに提供し、生涯学習の機会促進」「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」「生物多様性・絶滅危惧種の保護・保全」「平和で包摂的な社会の促進」「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」などがあり、改めて今まで行ってきた各館の事業などがSDGs とかかわっていたことがわかります。

今後もこのことを意識して、目標達成に向けて取り組んでいきます。

## 事業計画の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、設立時の基本理念を念頭に、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民の文化、健康の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する目的達成に努めます。

この目的を達成するため、

- 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)
- 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)
- 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)
- 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)
- 市より受託する文化・スポーツ及び健康増進事業(定款第4条第5号)
- 市より受託する施設の管理運営事業(定款第4条第6号)

などの事業を実施します。

当財団は、国立市との連携により、市民芸術小ホール及び郷土文化館を核として、国立市に文化が香るまちづくりを推進させるために芸術文化施策を充実させ、長期的視野に立って芸術を育む良質の土壌を作ります。また、市民総合体育館を核として、市民の多種多様なスポーツ・レクリエーションのニーズに対応し、体力の向上や心身の健康の保持・増進、余暇の充実を図ってまいります。



## Ⅰ 公益事業

### 1. 市民芸術小ホール

#### 基本方針

芸術小ホールは、多摩地区最小の公立複合文化施設として開館しました。コンパクトながら劇場機能を満たす施設・設備と人的体制を備えています。市民が自ら芸術文化に親しみ交流・発信する環境を整える貸館事業と、芸術の創造や継承、普及を行う自主事業とによって、地域の芸術文化振興に寄与する役割を果たしていきます。また、様々な状況を抱える市民の生活を芸術文化の側面から支える一助を行う公共ホールとしての在り方を追求するため「ダイバーシティ&インクルージョン」を意識しSDGsを活かした事業展開を図ります。

#### 2022年度の運営概略

##### 1. ダイバーシティ&インクルージョンに芸術を活かす

市や市内関係施設と協力し、乳幼児とその保護者や高齢者、しょうがいしゃ、外国人、ひきこもりなどあらゆる市民が存在する「ダイバーシティ&インクルージョン」の概念を芸術文化の視点からとらえ、認識を広め行動につなげる事業を展開します。

またそこにはSDGsの考え方を取り込み、「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」を中心に公平性やこれまで事業に関わりづらかった市民を対象とすることを目指します。

##### 2. クリエイション（創造）への取り組み

ホール・劇場の主要な機能である芸術性の追求に努めます。芸術の真髄である「創造」に積極的に取り組み、周辺公共ホールとの差異化を行うとともに制作力ある施設を目指します。

またそのことにより芸術小ホールの名前を広め、一般市民や芸術関係者からの注目を集めることで施設利用の活性や市内のにぎわいへとつなげます。

##### 3. コロナ禍での芸術振興

新型コロナウイルス拡大の影響がいまだぬぐえない中、今後も不安定な状況を想定しつつも芸術振興の歩みを滞らせることがないように、市民に利便な施設利用と芸術活動への参加を奨励する事業を行っていきます。

それに関連し、ひきつづき市民が施設利用・予約を行いやすい環境を整備するため、財団事業および市事業の平日開催を促進します。

##### 4. 芸術活動促進に向けて

(1) ツイッター、メールマガジン、動画配信サイト YouTube、デジタルサイネージの活用を継続して進め広報業務の充実を図ります。

(2) 外部助成金獲得、また芸術団体等との連携でより芸術的価値とスケール感のある事業を手掛けます。

## (1) 芸術環境創造事業

### ア 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

地域芸術団体、学校、アーティスト等とともに、芸術文化活動が身近に感じられる環境をつくります。それによりダイバーシティ&インクルージョン社会の実現を目指します。そのために市や市内関係施設との連携も強化していきます。

具体的な事業として「くにたちアートプロジェクト」「放課後ダイバーシティダンス」等により、ターゲットとなる層を段階的に取り込むことを狙います。

### イ 学校教育との連携事業

地域の学校と連携し、その資質を活かした事業を行います。また子どもたち対象の事業を芸術に触れる機会を均等に設けることをねらいとして市内小学校で展開します。

具体的な事業として国立音大連携「くにたちデビューコンサート」、「公共ホール音楽活性化支援事業（アウトリーチ、公演）」を開催します。

### ウ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市民が芸術分野での講座講師を務め、その活動を通じてコミュニティの創成を狙う「市民一芸塾」、くにたちアートビエンナーレ受賞作家の個展を開催します。

## (2) 芸術振興事業

### ア 芸術文化の創造事業

「創造ができるホール」としての地位獲得を目指します。そのために、各ジャンルの第一線で活躍するアーティストを起用し内容の充実とより高いクオリティを追求します。また市民参加を主要な柱とし、体験、交流を含めた作品への出演はもちろん、鑑賞者としても幅広くできる限り多くの客層から参加が可能となる企画を行うことで芸小ホールの特徴を確立します。

具体的には3年前から取り組んでいる多和田葉子氏書下ろし市民参画型オペラ創作と公演実施、赤ちゃんから高齢者まで楽しめる舞台作品の創作、芸小創作作品の国内巡回公演実施等を図ります。

これら事業については外部助成金獲得を目指し活用していきます。

### イ 芸術文化の継承事業

クラシック音楽、伝承芸能などの分野における優れた舞台を市民に提供しその継承と普及に努めます。

毎年開催の（公財）東京都歴史文化財団 東京文化会館共催「フレッシュ名曲コンサート」や各種落語事業ほか、共催形式により予算効率化を図りつつくにたち市民オーケストラ「ニューイヤークンサート」、世界的な活動を行う太鼓芸能集団鼓童「地域交流コンサート」等を行います。

### ウ 芸術文化の交流・支援事業

スタジオのサイズ感を活かした芸小定番の人気事業「スタジオコンサート」「すたじお寄席」を継続実施します。演者との距離感を縮め市民がより親しみを感じることで若手の育成や芸術普及へとつなげます。

## エ 創客・利用拡大事業

創客、利用拡大をめざし公益事業として無料の「ランチタイムコンサート、ランチタイムステージ」等の定期開催、およびホール利用の空き日を活用した「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」を継続し、ホール活用の促進を図ります。

## (3) その他

### ア 自主事業、連携事業企画調査

事業運営能力、接遇の向上をめざし研修参加等の機会を設けるとともに職員間の標準化を図っていきます。

### イ 実行委員会参画事業

共催事業としてファミリーフェスティバル、実行委員会形式で運営するくにたち音楽祭、国立市吹奏楽フェスティバルなど地域に根付いた活動を継続します。くにたちギャラリーネットワークとの連携事業も推進していきます。

各市民芸術団体の交流と活動の自立を目指し、市民による芸術文化活動の充実を支えていきます。

## 2. 郷土文化館

### 基本方針

郷土文化館は、下図にあるメインテーマを運営の基本理念として、各種事業を展開してきました。この理念は国連のSDGsに通ずるもので、今後もこの理念を尊重しつつ社会の要請や地域の変化を視野に入れた運営を推し進めます。そのため、主催事業は計画的に実施し、とりわけ専門職員としての学芸員はその専門性を高め、より地域に貢献する郷土文化館を目指します。また、参画／協働型の運営を拡充し、収集、保存、調査研究、普及、展示等に市民力が発揮できる機会を確保します。これらの目的達成のために、以下の課題に取り組んでいきます。

### 2022年度の運営概略

郷土文化館では、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」、目標11-ターゲット4「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」、目標15-ターゲット5「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」、目標17-ターゲット17「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」の達成に向けて、博物館類似施設として、「過去・現在・未来を結ぶ」をメインテーマとし、有形・無形の地域文化遺産の継承、現世代への教育と未来社会への貢献を目指します。資料保存機関としての機能を生かしつつ、近代博物館の来館者重視の流れを受け、さまざまな企画展示及び企画事業を通じて、地域の人々の生涯学習の拠点としての資料の公開、及び普及活動を展開します。産官学連携での各種活動を展開し、教育の対象を来館者だけでなくアウトリーチとして学校も含めた市中に広げていきます。また、自然環境に恵まれた立地条件を生かし、生物多様性の保全を意識しながら自然系の事業を推進します。

なお、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個々の事業において中止、規模の縮小等の対応を行いましたが、2022年度は新型コロナウイルス感染が収束することを願い、従前通り事業計画を策定することとします。

### (1) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

#### ア ハケ、里山を、地域の資源ととらえ、保全と共生のためのプログラムを組みます。

・城山の里山づくり・里人会議の会員と情報を共有し、観察事業、保全事業を展開します。

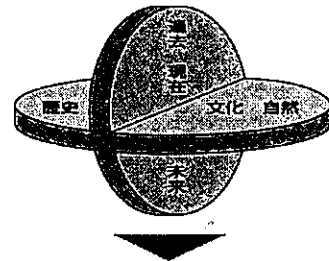
#### イ 「城山さとのいえ」との協力・連携を進めます。

・古民家伝統行事（鯉のぼり、七夕飾り、ひし餅、まゆ玉、十五夜だんごなど）の事業を推進します。

#### ウ 国立市観光まちづくり協会等と連携し、古民家の多角的な利用及び、旧国立駅舎を活用し、有形文化財への理解と関心を深めます。

・見学者への対応に加え、集会や事業のための有効利用を図ります。

#### エ 国立市内の有形・無形の文化遺産を市民が誇りと愛情を持てるよう活用します。



- 過去・現在・未来を結ぶ
- 歴史・文化・自然の調和
- 人との、人と人との出会い
- 驚き・不思議さ・おもしろさ
- 文教都市くにたちの象徴

### メインテーマ

過去・現在・未来を結ぶ  
—多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち—  
(ハケ)

- ・伝承者の高齢化が進む中、地域の無形文化遺産（慣習・知識など）を計画的に引継ぎ、後世に継承します。
- ・国立市所蔵美術品を随時紹介します。
- ・自然環境を含む地域文化の理解を深めるため地域歩き事業を展開します。

## (2) 市民が参加及び体験する事業

－産官学の連携による、まちぐるみ創造空間の演出参加－

- ア 歴史、文化の継承拠点として、それを支える団体・サークルとの協力体制を引き続き維持します。**
- ・歴史系、民俗系、自然系、創作の団体・サークルの活動を支援する中で、事業を展開し、団体・サークルの相互理解と地域への拡散を図ります。
- イ 包括連携協定を締結している大学等との協働事業を展開します。**
- ・学習会、講演会等への講師派遣や資料提供依頼を拡充します。
- ウ 出前講座、課外学習会等、学校教育への積極支援を行います。**
- ・伝統文化や生活誌を、分かりやすく伝える機会をつくります。
  - ・民具資料を紹介し、体験学習等で活用を図ります。
- エ 国立市所蔵美術品の市民（団体、個人）への情報提供を推進します。**
- ・国立市所蔵美術品を適宜市民に公開します。
- オ 社会教育機関や行政との連携を促進します。**
- ・展示事業、調査研究事業において、公民館、図書館等の社会教育機関や一般行政組織と連携し、市内全域でくにたちの過去、現在、未来を学び、考える機会を創出します。

## (3) 行政の事務事業及び生涯学習活動の支援

- ア 公共施設予約システムについて、利用者の視点で検証します。**
- ・デジタルデバインドへの丁寧な対応と公平性を確保します。
- イ 行政から移管された資料の整理を促進します。**
- ・国立市広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、ウェブ上で公開します。
  - ・関連した企画展を開催し、今後のまちづくりを考える機会を提供します。
- ウ 資料研究室の内容充実と利用促進を図ります。**
- ・地域資料の提供及び生涯学習の支援に、より一層資するため、資料研究室における登録書籍及び配架設備の充実を図ります。
- エ 講座事業、オンライン発信を充実させます。**
- ・企画展示に関連した講座を充実させると共に、各種オンライン発信を強化し、より多くの人々が広く深く学習できる機会を提供します。
- オ 文化財行政、社会教育行政との連携を促進します。**
- ・常設展示室を中心として、展示資料の見直しを図り、最新ICT技術を活用した新たな展示解説の方法の検討などを行います。
- カ 指定管理事業の内容を精査し、いっそうの効率化を図ります。**
- ・ミュージアムグッズの在庫管理を徹底し、販路の拡大を模索します。
  - ・ホームページを充実し、郷土文化館の機能、所蔵資料紹介を掲載します。
  - ・旧国立駅舎において、郷土文化館グッズ等の販売を促進します。

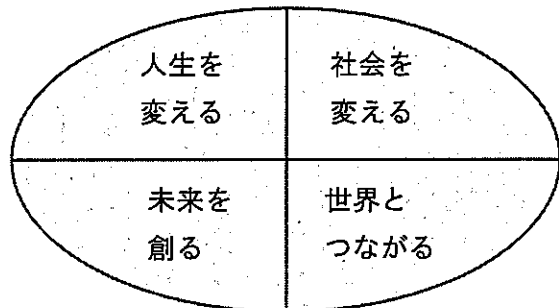
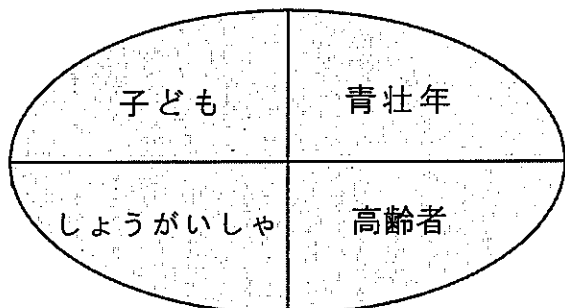
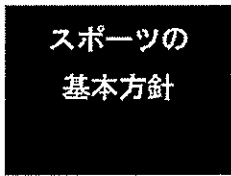
## (4) 市内遺跡整理調査業務受託事業

- ア 市内遺跡調査の整理、報告書の作成業務を受託し、文化財保護の普及に寄与します。**

### 3. 市民総合体育館

#### 基本方針

国連のSDGsにおいて「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵となるものである」とし必要不可欠なものとしています。また、スポーツ庁のスポーツで人生を変える、スポーツで社会を変える、スポーツで世界とつながる、スポーツで未来を創る、の4つの基本方針はまさにSDGsを達成することにつながっています。SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」では、スポーツを行うことはアクティブなライフスタイルと精神的な安定をもたらし、それが健康問題を解決するとしています。総合体育館では、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう事業を展開していきます。



#### 2022年度の運営概略

1. 小中学生のスポーツ体験事業の充実を図ります。
2. 健康づくりのスポーツ事業の充実を図ります。
3. 高齢者を対象とした事業の充実を図ります。
4. しょうがいしゃスポーツの推進に取り組みます。
5. 関係機関との連携を図ります。

#### (1) スポーツ及びレクリエーション事業

##### ア 小中学生のスポーツ体験事業の充実

コロナ禍でスポーツを親しむ機会が減り、小中学生の体力が低下しているといわれています。体力テスト対策として指導員を派遣し、体力の向上を目指します。また、小中学生を対象とした体験事業の充実を図ります。

#### イ 健康づくりのスポーツ事業の充実

スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりが健康的な生活を確保し福祉を推進することにつながります。現在ある事業の充実を図るとともに、誰でも気軽に参加できる事業の検討を行います。

#### ウ 高齢者を対象とした事業の充実

コロナ禍で高齢者が外に出る機会が減少しています。申し込み不要でいつでも参加できるインターバル速歩が高齢者に人気です。さらなる充実を図るとともに新たな高齢者向けの事業の検討を行います。

#### エ しょうがいしゃスポーツの推進

多摩障害者スポーツセンターとの連携強化を図ります。また、しょうがいしゃスポーツを推進・支援するために、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し、より多くの市民への理解が深められるよう目指します。

#### オ 関係機関との連携

国立市体育協会をはじめ東京女子体育大学、一橋大学、各種民間のスポーツ施設や新たに設立する総合型地域スポーツクラブ等との連携強化を目指します。

### (2) 学校開放受付業務受託事業

国立市から国立市立小・中学校の施設開放事業に係る受付事務を受託し、市民がスポーツをする場の提供を行い、利便性の向上を図ります。

### (3) 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業

国立市から国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を受託し、市民の健康増進に寄与します。特に特定保健指導終了後も参加者が継続して運動できるよう努めます。

#### 4. 共通公益事業 (総務課)

(1) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業 (定款第4条第4号)

国立市の芸術、文化、スポーツの振興に寄与すると認められる市民団体等に対して、その事業に必要な費用の一部を助成し、市民の芸術、文化、スポーツ活動のより一層の振興を図っていきます。

(2) 公益財団広報紙「オアシス」の発行等事業 (定款第4条第7号)

市民向けに公益財団広報紙「オアシス」を発行します。その内容をホームページに掲載し市内外にも情報を発信していきます。

(3) 指定管理事務

各館の指定管理事業に係る予算編成、予算執行管理等を適正に行います。

#### 5. 指定管理事業 (各館共通) (定款第4条第6号)

当財団が管理運営する市民芸術小ホール、郷土文化館、市民総合体育館の施設・設備の老朽化が進み、補修や更新の頻度が高まっているため、利用者の安全と施設利用の要望に一層配慮しつつ、施設の維持管理に努めていきます。

(1) それぞれの施設の目的・特徴を活かし、施設のより効率的な運営と公平な市民サービス向上に努めます。

- ・嘱託員の一層の接遇を含めた資質向上に努めます。
- ・専門員の専門性を高めるために研修を積み、施設としての役割を十分に果たすとともに広範な市民のニーズに応えられるよう努力します。
- ・国立市の推薦に基づいて採用された固有職員を除き、財団独自で雇用した固有職員の処遇の改善を実施します。

(2) 市民の自発的な諸活動を支える施設の運営、設備の整備に努めます。

## II. 収益事業等

施設利用者の利便性を考慮し、各施設における需要に応えたサービス事業を行います。

### 1. 付帯サービス事業 (定款第4条第2項)

- (1) チケット販売事業 (くにたち市民芸術小ホール)
- (2) 飲料水等販売事業 (くにたち郷土文化館・くにたち市民芸術小ホール)
- (3) グッズ等販売事業 (くにたち郷土文化館・くにたち市民芸術小ホール)
- (4) 体育用品の販売事業 (くにたち市民総合体育館)

### 2. その他の事業

- (1) 公益事業外の施設貸与事業



### Ⅲ. 管理 (法人管理事業)

#### 1. 役員及び役員会等に関する事業 (定款第4条第7号)

##### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ア 評議員 2019年5月30日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- イ 理事 2021年5月31日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ウ 監事 2019年5月30日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

##### (2) 理事会等の開催

- ア 理事会 年3回
- イ 評議員会 年3回
- ウ 決算監査、中間監査 各1回

## 事業計画の内訳

自主・共催事業

1 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

[芸術文化事業]

### (1) 芸術環境創造事業

ア 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 にじゅうまるシアター（各1回×2公演）	自主	6月、10月
2	旧駅舎コンサート&パフォーマンス	自主	通年
3	放課後ダイバーシティダンス	自主	通年
4	(仮称)くにたちアートプロジェクト事業	共催	通年

イ 学校教育との連携事業

5	【国立音大連携事業】 くにたちデビューコンサートvol. 15	自主	後期
6	【市内学校等との連携事業】 公共ホール音楽活性化支援事業『アーティスト未定』（コン サート1回、アウトリーチ4回）	共催	7～8月

ウ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

7	市民一芸塾（2回）	自主	8月・後期
8	野外彫刻展受賞者個展	自主	後期

### (2) 芸術振興事業

ア 芸術文化の創造事業

9	inc. percussion days 2022（講演、コンサート、WS 等）	自主	8月
10	鼓童 交流公演2022	共催	10月
11	リーディング 『未定』	自主	11月
12	多和田葉子 複数の私vol. 05+ステージクリエイションシリーズIII くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』	自主	4～5月
13	芸小ステージクリエイションシリーズIV『未定』	自主	未定
14	文化庁巡回公演事業	共催	8-9月/12月
15	芸小シネマ	自主	後期

画		予算額(千円)	SDGs関連
事業内容及び説明			
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパトリーを上演します。		3,469	目標3, 4, 17
【入場無料】国立駅旧駅舎で、芸小のプロモーションを目的に開催します。			目標8
2019～2021年度にアーツカウンシル東京共催事業として行った同事業を、運営方法や形式を変えて継続実施。外部団体との共催とする可能性があります。			目標4
アーツカウンシル東京「アートポイント計画」事業。「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外の様々な主体が連携、協働し、芸術文化を通じた人々の活動や交流を促進する法人による拠点づくりを進めていきます。			目標3, 4, 16

国立音楽大学の協力で、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業を行います。公演が稀有なコンピュータ音楽に取り組み新たな観客層の開拓に挑みます。	1,605	目標4
音楽家による地域でのアウトリーチを4回以上、ホールでの演奏会を1回行い、ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりを目指します。(一財)地域創造共催。		目標3, 4

地域の専門家を講師として招聘して、市民向けに造形や実演の文化芸術講座を開催します。	206	目標3, 4
【入場無料】くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展で受賞した作家の作品を展示する個展を開催します。		目標4

【一部入場無料】世界的打楽器奏者の加藤訓子氏主宰による若手演奏家育成プロジェクト、演奏会や展示など複数のイベントを実施します。また、様々なジャンルとの協働を試み、新しい価値観の舞台創造を行います。	6,967	目標3, 4
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演を行います。		目標3, 4
今新たな舞台表現として各所で試みられている「リーディング」(朗読の一種)公演。文学的要素を取り入れた事業とします。市民参加型。		目標4
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子による書下ろし新作オペラ公演。自治総合センター、芸術文化振興基金、ロームミュージックファンデーション等への助成申請中。		目標3, 4, 10
2020年度制作の音楽会『太陽のタネ』進化版として舞台作品を創作します。赤ちゃんから高齢者までを対象とします。		目標4
文化庁巡回公演事業に採択された2020年度制作の音楽会『太陽のタネ』を、芸小創作作品として国内の小学校等からの依頼を受け上演します。		目標3, 4
2020年度制作の映画『太陽のタネ』および同監督の作品を上映。トークなど関連企画も行います。		目標4

イ 芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
16	フレッシュ名曲コンサート（室内楽）	共催	9月
☆ 17	ホール寄席	自主	12月
○ 18	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 初級者編	自主	7月
○ 19	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 上級者編	自主	7月
● 20	くにたち市民オーケストラ 2023年ニューイヤーコンサート	共催	1月

ウ 芸術文化の交流・支援事業

21	スタジオコンサート（3回） vol. 104～vol. 106	自主	6・7・後期
22	くにたちすたじお寄席 49-51回	自主	6・9・3月
○ 23	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ （10回）	自主	毎月
○ 23	イブニング・コンサート（2回）	自主	8月・12月
24	ホールとグランドピアノのシェアプログラム （8回）	自主	通年

(3) その他

ア 自主事業、連携事業企画調査

25	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
26	地域連携、公文協、地域創造等連携交流事業	自主	通年
27	その他事業（オアシス、助成、観まちバナー広告、消火栓広告、くにたちポイント）	自主	通年

イ 実行委員会参画事業

○ 28	第45回 くにたち音楽祭	共催	6月
○ 29	第28回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月
○ 30	ファミリーフェスティバル（ファンファーレ、春風コンサート、呈茶、エントランスコンサート）	共催	5月
○ 31	ギャラリーネットワーク連携事業	共催	10月、11月
○ 32	わくわく子どもフェスタ	共催	2月

- こどもおすすめ事業
- ☆ 協賛事業
- 新規事業

画	事業内容及び説明	予算額(千円)	SDGs関連
	東京文化会館との共催。東京音楽コンクール1位および日本音楽コンクール1位受賞者によるアンサンブルコンサート。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的とします。	2,074	目標3, 4
	一連の落語事業のうち「鑑賞」に焦点を当て著名な落語家の至芸を提供します。すたじお寄席との連携で、落語事業の発展・展開を行います。		目標17
	若手落語家指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して親しみ、話芸の世界を体験する小学生向け落語講座を開催します。		目標4, 17
	10回を重ねた「こども寄席」進化版として、小～高校生を対象を広げ開催します。		目標4, 17
	くにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサートを、共催事業として行います。		目標3

70席のスタジオで、音楽を身近に親しみやすく体験するコンサートを開催します。様々なジャンルから選択し、幅広い層の鑑賞者開拓を行います。	1,094	目標3, 4, 8
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催します。		目標3, 4
【入場無料】公益事業として開催します。音楽に加え、多彩な実演芸術を紹介します。		目標3, 4
【入場無料】8月、12月に上記事業を夕方に移して開催します。有料公演とする可能性あり。		目標3, 4
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施します。		目標3, 4

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加します。	2,594	目標17
市と共催で行う音楽会や公文協支援員派遣事業による研修、中核的劇場などで行われる研修や交流事業に参加する等、事業連携等の試行事業を行います。		目標17
施設見学の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れを行います。助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行います。		目標4, 8

【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催します。	450	目標3
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催します。		目標3
【入場無料】財団、体育協会の共催によるファミリー向け事業を行う中で、芸術小ホールでは、吹奏楽公演、呈茶などを行います。		目標3
【入場無料】市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を開催します。		目標3, 4
【一部入場無料】立川子ども劇場くにたち支部などが実行委員会を組織して、子ども向けの様々な事業を行います。		目標3

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」 目標4 「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会を促進」  
 目標8 「働きがいのある人間らしい仕事の提供」 目標10 「だれもが等しく芸術に触れる機会を」  
 目標12 「持続可能な消費と生産のパターンを確保」 目標16 「包摂的な社会を推進」  
 目標17 「公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進」

2 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号)

〔郷土文化事業〕

(1) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、調査研究、教育支援のための事業

ア 展示事業

・常設展示

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
1	くにたち郷土文化館 常設展示	自主	通年
2	ハケと生き物の展示	自主	通年
3	施設及び周辺環境整備事業	自主	通年

・企画展示

○	4	春季企画展 「第24回 紙の工芸展」 (仮題)	共催	5~6月 3週間
●	5	秋季企画展 「くにたちの暮らしを記録する会の軌跡」 (仮題)	自主	10月~12月 6週間
○	6	冬季企画展 「むかしの暮らし」展	自主	1月~3月 8週間

イ 資料収集・調査・研究事業

	7	資料保存に伴う修復及び調査・研究事業	自主	通年
	8	地域資料の整理	自主	通年
	9	収蔵資料の整理	自主	通年
	10	資料のデジタル化事業	自主	通年
	11	図書資料整理	自主	通年
	12	地域資料等の購入・収集および調査・研究・教育普及事業	自主	通年
	13	調査、研究等の書籍刊行事業	自主	随時

画	予算額 (千円)	SDGs関連
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち」をテーマとして、国立市の歴史、民俗、自然の各分野について学んでもらうことを目的としています。基本的なスペックを維持しつつ、新収蔵資料の展示を中心に、ゾーニングの見直しを行います。	286	目標4
研究者の協力のもと、ハケや府中用水に生息する生きものについて、生体展示または標本や剥製などの資料を通じて親んでもらうことを目的としています。自然学習への関心を高める展示を継続します。		目標15 ターゲット5
地球温暖化や省エネについて考えてもらうことを目的としています。来館者、見学者がくつろげる空間づくりを、ハード、ソフト面で行います。		目標13 ターゲット3

紙を素材にして様々な創作品を紹介します。市内で活動するサークルと共催で、会期中に紙の特性や魅力を学びながら、子どもから大人まで楽しめる体験事業を行います。	1,250	目標17 ターゲット17
高度経済成長期、町の暮らしが大きく変化していくなかで行われた、民具収集と聞き取り調査。市民の力で行われたそれらの業績を紹介すると共に、採集された民具と聞き取りから分かる、かつての谷保の人々の暮らしぶりを振り返る。		目標11 ターゲット4
当館所蔵の民具を展示し、昔の暮らしや道具について学習を深めることを目的とし、小学3年生の授業カリキュラムにも対応させる内容とします。		目標4

将来の利用に向けた資料保存と、企画展示を目的として、国立市に関する資料の調査・研究および保全、修復を行います。	2,277	目標11 ターゲット4
新たに寄贈された資料（美術・写真・民具）の整理を行います。		目標11 ターゲット4
歴史資料、民俗資料、図書資料及び新規資料の整理・保存環境整備を行います。また、収蔵庫の資料の再調査を行い収蔵庫の整理を行います。		目標11 ターゲット4
館収蔵の紙資料や、市役所広報担当移管写真等のうち、資料的価値が認められ、利用頻度も高い資料群のデジタル化および、その情報入力の促進を図ります。当館所蔵および移管資料に係る聞き取りテープの筆耕を行い、刊行に向けた準備を進めます。		目標11 ターゲット4
資料研究室の資料を、中央図書館とネットワーク化するためのデータベース作業等を行います。		目標11 ターゲット4
他の社会教育機関と連携し、地域資料の収集活動および地域史に関する調査・研究を行います。また資料研究室において書籍の購入等を通じた国立市とその周辺地域の地域史に関連する登録書籍の充実を図り、生涯学習の支援等に資するようにします。		目標11 ターゲット4
年報、研究紀要、収蔵資料の目録など、調査・研究の成果を書籍にまとめて刊行します。		目標11 ターゲット4

ウ 講座事業（教育・学習支援事業）

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
14	講演会事業	自主	年間4回
15	自然講座「くにたちの自然といきものの関わり」（仮題）	自主	年間2回
16	歴史講座「くにたちの古文書を読む」（仮題）	自主	年間3回
○ 17	ガイドツアー	自主	随時
18	学習支援事業	自主	随時

(2) 市民が参加及び体験する事業  
ア 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 19	小学生民具案内（全11校）	自主	1月～3月
○ 20	わら細工教室（2回）	自主	8月・12月
21	千支の折り紙教室	自主	11月
22	国立市古民家 展示と公開	自主	通年
○ 23	国立市古民家事業：季節の飾り付け	自主	随時
○ 24	国立市古民家事業：伝統行事	自主	随時

イ 郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 25	くにたち自然クラブ（全7回）	共催	6月～12月
○ 26	星空ウォッチング（全3回）	自主	12月～2月
○ 27	冬のいきもの探し	共催	1～3月

- こどもおすすめ事業
- 新規事業



画	予算額 (千円)	SDGs関連
事業内容及び説明		
企画展示に関連し、より詳細な内容を学ぶ機会として専門家などを招き講演会を行います。また、国立市の歴史・文化を学ぶ機会として、常設展示とも関連するテーマに基づいた講演会を企画します。	278	目標4
くにたちの自然環境について座学とフィールドワークから学ぶ講座を、場所やテーマを代えて行います。		目標15 ターゲット5
くにたち郷土文化館所蔵の近世資料及び、くにたちの暮らしに関する資料を活用し、国立の歴史を学ぶ講座で多面的な学習機会を提供します。		目標4
来館者に向けて展示解説や周辺の散策ガイドなどを行います。		目標4
小学校出前講座や中学生職場体験・学芸員実習など、学校教育の支援を行います。		目標4

市内公私立小学校全11校3年生を対象に、郷土文化館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしぶりを体験する機会とします。学校教育の授業カリキュラムと連動した事業です。	594	目標4
購入もしくは寄贈されたわらを利用して、わらぞうりやしめ縄作りなどの体験教室を行ないます。		目標11 ターゲット4
翌年の干支を制作することを通じて、日本の伝統文化である「折り紙」を体験してもらう機会とします。		目標11 ターゲット4
国立市有形民俗文化財・復元民家・旧柳澤家を一般に公開、活用します。		目標4
寄贈を受けた節句飾り等季節に応じた展示（端午の節句、七夕飾り、雛人形飾りなど）を行います。城山さとのいえの来館者も楽しめるよう、共通の飾り付けを行います。		目標11 ターゲット4
古民家を活用して、四季の伝統行事（十五夜団子・まゆ玉飾り・豆まき、ひし餅作り）を行います。		目標11 ターゲット4

小学生を対象に、生き物や自然の観察を通して自然の大切さを学ぶことを目的として、様々な体験を行います。	277	目標15 ターゲット5
専門家による天文学の講演と、大型天体望遠鏡を使って冬の夜空に輝く星座を観察します。		目標4
自然クラブ卒業生を中心に対象とした、ジュニアリーダー育成を目的としてフィールドワークを中心とした講座を実施します。		目標15 ターゲット5

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」  
 目標11ターゲット4 「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」  
 目標13ターゲット3 「気候変動に関する教育／啓発」  
 目標15ターゲット5 「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」  
 目標17ターゲット17 「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」

※SDGs 関連性の項には最も関連性の高いと思われる目標、ターゲットを掲載している。

3 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)  
〔スポーツ・レクリエーション事業〕

(1) 健康づくりのスポーツ事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
1	やさしいヨガ①～④ (4回 各8日間)	自主	5月・8月 10月・1月
2	初めての気功と健康太極拳①～⑤ (5回 各8日間)	自主	4月・6月 9月・11月 1月
3	太極拳24式・48式①～⑤ (5回 各8日間)	自主	4月・6月 9月・11月 1月
4	水中リズムウォーキング①～④ (4回 各8日間)	自主	4月・9月 11月・1月
5	骨盤調整&エアロビクス①～④ (4回 各8日間)	自主	4月・6月 11月・1月
6	楽しいフラダンス①～③ (3回 各6日間)	自主	4月・9月 12月
7	インターバル速歩	自主	4月～3月

(2) スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (1回 12日間)	自主	4月
9	レベルアップゴルフ①・② (1回 12日間、1回 6日間)	自主	9月・2月

(3) 親と子どものスポーツ体験事業

○ 10	親子体操教室①～③ (3回 各8日間)	自主	5月・9月 1月
○ 11	親子野球教室①・② (2回 各1日間)	自主	10月・3月
○ 12	親子スイミング教室①～③ (3回 各6日間)	自主	5月・11月 2月

画 事業内容及び説明	予算額 (千円)	SDGs 関連
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスし心身のリフレッシュと健康増進を図ります。	5,916	目標3
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりした呼吸法を取り入れ、足腰等を鍛錬し健康増進を図ります。		目標3
中国武術の一派を基に制定された健康運動法として、中国政府が編纂、制定した太極拳を学び健康増進を図ります。		目標3
水中を歩いたりストレッチ・ダンス等を行うことにより、浮力を利用して身体全体を動かし、健康増進を図ります。		目標3
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体づくりと健康増進を図ります。		目標3
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を図ります。		目標3
心肺機能と脚筋力を向上するインターバル速歩の講習会です。毎月第1金曜日に実技を行うほか、随時、座学を開催します。		目標3

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学びます。	1,659	目標3
ゴルフの応用的な技術指導を行い、ルールを学び、参加者のレベルアップを図ります。		目標3

親子で一緒に運動することにより、楽しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場として子育ての一助を目指します。	916	目標3 目標4
野球という最もポピュラーなスポーツを通じて、親子の関係作りを図ります。		目標3 目標4
親子で水に親しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場になることを目指します。		目標3 目標4

(4) 小中学生スポーツ体験事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
○ 13	小・中学生無料開放①～③(夏1回、冬1回、春1回)	自主	7月・1月 ・3月
○ 14	小学生バドミントン教室①、②(2回 各6日間)	自主	4月・9月
○ 15	初心者ミニバスケット教室(1回、3日間)	自主	8月
○ 16	小学生高学年テニス教室(1回、3日間)	自主	8月
○ 17	小学生かけっこ教室(1回、8日間)	自主	5月～7月
○ 18	サッカークリニック	自主	1月
○ 19	小学生夏休み水泳教室	自主	8月

(5) 共催事業

○ 20	第30回ファミリーフェスティバル	共催	5月
21	第32回くにたちウォーキング	共催	11月
22	第32回ダンスコレクション	共催	3月
23	スポーツ講演会	共催	3月
○ 24	小学生初心者水泳教室	共催	5月～7月

(6) 協力事業

25	体力テスト対策事業	協力	5月・6月
----	-----------	----	-------

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画 事業内容及び説明	予算額 (千円)	SDGs 関連
学校の休み期間に、子どもたちや親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツの普及を図ります。	1,414	目標3 目標4
バドミントンを基礎から学び、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
ミニバスケット対応のゴールを設置し、小学生の初心者を対象に基礎を学び、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
小学生の初心者を対象にテニスの基礎から学び、楽しむとともに親睦を図ります。		目標3 目標4
運動の基礎となる走力を身に着けることを目指しています。実施時期についても運動会の前など参加意欲がわくよう工夫します。		目標3 目標4
小学生から中学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催にしました。		目標3 目標4

総合体育館及び周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催します。 (共催：国立市体育協会)	1,441	目標3
市内の名所・見どころ等を巡るコースを選定し、完歩賞を発行するなど、誰でも自由に参加できるウォーキングを行います。 (共催：国立市体育協会)		目標3
総合体育館と芸術小ホールの利用団体によるダンスや音楽による健康体操等の活動成果を発表する場を設けるとともに普及を図ります。 (共催：ダンスコレクション実行委員会)		目標3
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図ります。 (共催：国立市体育協会)		目標3
全8回の水泳教室です。低学年、高学年の2コースを設け、泳ぎを学び、水泳の楽しさと親睦を図ります。 (共催：国立市)		目標3 目標4

小・中学校で行われる体力テスト対策として指導者を派遣します。	0	目標3 目標4
--------------------------------	---	------------

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」  
目標4 「質の高い教育をみんなに」



2 0 2 2 年 度

収 支 予 算 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

2022年度収支予算書 (損益計算ベース)  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計			合 計		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	201	201	0							201	201	0
基本財産利息	201	201	0							201	201	0
特定資産運用益	1	1	0							1	1	0
特定資産利息	1	1	0							1	1	0
事業収益	328,943	326,052	2,891	11,545	11,545	0	15,200	15,200	0	355,688	352,797	2,891
自主・共催事業収益	17,793	14,902	2,891							17,793	14,902	2,891
国上市指定管理料収益	231,030	231,030	0	7,470	7,470	0	15,200	15,200	0	253,700	253,700	0
国上市受託料収益	7,636	7,636	0		0	0				7,636	7,636	0
利用料収益	71,794	71,794	0	2,170	2,170	0				73,964	73,964	0
広告料収益	690	690	0			0				690	690	0
付帯サービス事業収益			0	1,905	1,905	0				1,905	1,905	0
受取補助金等	59,492	53,559	5,933				10,898	10,898	0	70,390	64,457	5,933
国上市補助金	54,190	52,190	2,000				10,898	10,898	0	65,088	63,088	2,000
民間等助成金	55	55	0							55	55	0
国等助成金	5,247	1,314	3,933							5,247	1,314	3,933
受取寄付金等	30	30	0							30	30	0
受取寄付金振替額	30	30	0							30	30	0
雑収益	37	37	0	50	50	0				87	87	0
受取利息	2	2	0							2	2	0
行政資料等販売収益			0	50	50	0				50	50	0
雑収益	35	35	0							35	35	0
経常収益計	388,704	379,880	8,824	11,595	11,595	0	26,098	26,098	0	426,397	417,573	8,824
(2) 経常費用												
事業費	388,704	379,880	8,824	11,595	11,595	0				400,299	391,475	8,824
報 酬	42,834	42,643	191	1,679	1,679	0				44,513	44,322	191
給料手当	48,691	48,095	596	490	490	0				49,181	48,585	596
法定福利費	9,937	10,594	△ 657	110	110	0				10,047	10,704	△ 657
臨時雇賃金	2,832	2,804	28			0				2,832	2,804	28
福利厚生費	632	530	102			0				632	530	102
旅費交通費	452	227	225			0				452	227	225
会議費	224	269	△ 45			0				224	269	△ 45
通信運搬費	3,248	2,999	249	0	0	0				3,248	2,999	249
消耗品費	11,276	9,901	1,375	992	992	0				12,268	10,893	1,375
印刷製本費	4,993	4,106	887			0				4,993	4,106	887
修繕費	16,462	16,695	△ 233	330	330	0				16,792	17,025	△ 233
光熱水費	37,448	38,396	△ 948	1,470	1,470	0				38,918	39,866	△ 948
燃料費	300	300	0			0				300	300	0
賃借料	8,705	7,994	711	180	180	0				8,885	8,174	711
保険料	987	995	△ 8			0				987	995	△ 8
諸謝金	8,681	6,199	2,482			0				8,681	6,199	2,482
手数料	2,078	1,966	112	776	776	0				2,854	2,742	112
租税公課	7,709	6,499	1,210	155	155	0				7,864	6,654	1,210
広告宣伝費	381	521	△ 140			0				381	521	△ 140
支払助成金	1,600	1,600	0			0				1,600	1,600	0
委託費	168,777	164,674	4,103	5,413	5,413	0				174,190	170,087	4,103
支払負担金	1,196	1,296	△ 100			0				1,196	1,296	△ 100
ソフトウェア関連費	3,345	3,791	△ 446							3,345	3,791	△ 446



雑費	100	150	△ 50				100	150	△ 50
減価償却費	5,816	6,636	△ 820			0	5,816	6,636	△ 820

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計			合 計		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
管理費							26,028	26,028	0	26,028	26,028	0
役員報酬							4,766	4,956	△ 190	4,766	4,956	△ 190
給料手当							13,098	13,098	0	13,098	13,098	0
法定福利費							3,550	3,264	286	3,550	3,264	286
臨時雇賃金							45	49	△ 4	45	49	△ 4
福利厚生費							83	75	8	83	75	8
旅費交通費							11	11	0	11	11	0
会議費							50	50	0	50	50	0
通信運搬費							135	135	0	135	135	0
消耗品費							63	163	△ 100	63	163	△ 100
印刷製本費							90	90	0	90	90	0
修繕費							30	30	0	30	30	0
光熱水費							420	420	0	420	420	0
燃料費									0			0
賃借料							918	918	0	918	918	0
諸謝金							338	338	0	338	338	0
手数料							40	40	0	40	40	0
租税公課							322	322	0	322	322	0
助成金									0			0
委託費							224	224	0	224	224	0
支払負担金							224	224	0	224	224	0
ソフトウェア関連費							1,616	1,616	0	1,616	1,616	0
雑費							5	5	0	5	5	0
経常費用計	388,704	379,680	8,824	11,595	11,595	0	26,028	26,028	0	426,327	417,503	8,824
調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70	70	0	70	70	0
評価損益等			0		0							0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70	70	0	70	70	0
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等							70	70	0	70	70	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0		0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額	0	0	0				0	0		0	0	0
受取市補助金	0	0	0				0	0		0	0	0
受取寄付金	0	0	0				0	0		0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	312,545	312,590	△ 45	0	0	0	0	0	0	312,545	312,590	△ 45
指定正味財産期末残高	312,545	312,590	△ 45	0	0	0	0	0	0	312,545	312,590	△ 45
III 正味財産期末残高	312,545	312,590	△ 45	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	324,077	324,122	△ 45

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

2022年度中に借入れの予定はありません。

2) 設備投資の見込みについて

2022年度中は新たな設備投資の見込みはありません。

2 0 2 2 年 度

収 支 予 算 内 訳 書

2022年度収支予算内訳書 (損益計算ベース)  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 控 除	合計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツレガ エーション事業	共通	小計	付帯サービス 事業	施設管理 運営事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	202	0	202	0	0	0	0	0	0	202
基本財産利息			202		202			0	0	0		202
特定資産運用益					0							0
特定資産利息					0							0
事業収益	81,553	53,166	194,224	0	328,943	1,905	9,640	0	11,545	15,200	0	355,688
自主・共催事業収益	6,230	1,033	10,530		17,793				0			17,793
国立市指定管理料収益	55,893	48,591	126,546		231,030		7,470		7,470	15,200		253,700
国立市受託料収益	0	2,000	5,636		7,636				0			7,636
利用料収益	19,140	1,342	51,312		71,794		2,170		2,170			73,964
広告料収益	290	200	200		690				0			690
付帯サービス事業収益					0	1,905			1,905			1,905
受取補助金等	26,600	23,294	9,598	0	59,492	0	0	0	0	10,898	0	70,390
国立市補助金	21,298	23,294	9,598		54,190				0	10,898		65,088
国等助成金	5,247				5,247							5,247
民間等助成金	55				55							55
受取寄付金等	30	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30
受取寄付金振替額	30	0	0		30				0	0		30
雑収益	37	0	0	0	37	0	50	0	50	0	0	87
受取利息					0				0	0		0
行政資料等販売収益					0		50		50			50
雑収益	37				37		0		0	0		37
経常収益計	108,220	76,460	204,024	0	388,704	1,905	9,690	0	11,595	26,098	0	426,397
(2) 経常費用												
事業費	108,220	76,460	204,024	0	388,704	1,905	9,690	0	11,595		0	400,299
報 酬	17,618	9,360	15,856		42,834	375	1,304		1,679			44,513
給料手当	10,963	21,460	16,268		48,691	0	490		490			49,181
法定福利費	2,618	4,182	3,137		9,937	0	110		110			10,047
臨時雇賃金	695	2,000	137		2,832	0	0		0			2,832
福利厚生費	203	200	229		632	0	0		0			632
旅費交通費	342	60	50		452	0	0		0			452
会議費	130	64	30		224	0	0		0			224
通信運搬費	1,413	1,055	780		3,248		0		0			3,248
消耗品費	3,348	2,017	5,911		11,276	630	362		992			12,268
印刷製本費	2,621	1,526	846		4,993	0			0			4,993
修繕費	1,521	1,900	13,041		16,462	0	330		330			16,792
光熱水費	6,083	3,600	27,765		37,448	0	1,470		1,470			38,918
燃料費		100	200		300	0	0		0			300
賃借料	3,509	828	4,368		8,705	0	180		180			8,885
保険料	310	138	539		987	0	0		0			987
諸謝金	5,935	317	2,429		8,681	0	0		0			8,681
手数料	1,225	383	470		2,078	700	76		776			2,854
租税公課	2,255	1,659	3,795		7,709	50	105		155			7,864
広告宣伝費	381	0	0		381	0	0		0			381
支払助成金	530	530	540		1,600	0	0		0			1,600
委託費	44,959	21,681	102,137		168,777	150	5,263		5,413			174,190
支払負担金	206	40	950		1,196	0	0		0			1,196
ソフトウェア関連費	1,355	700	1,290		3,345							
雑費		100			100							
減価償却費		2,560	3,256		5,816	0	0		0			5,816

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 控	合計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツレクリ エーション事業	共通	小計	付帯サービス 事業	施設管理 運営事業	共通	小計			
管理費										26,028	0	26,028
役員報酬										4,766		4,766
給料手当										13,098		13,098
法定福利費										3,550		3,550
臨時雇賃金										45		45
福利厚生費										83		83
旅費交通費										11		11
会議費										50		50
通信運搬費										135		135
消耗品費										63		63
印刷製本費										90		90
修繕費										30		30
光熱水費										420		420
燃料費												0
賃借料										918		918
諸謝金										338		338
手数料										40		40
租税公課										322		322
助成金												0
委託費										224		224
支払負担金										224		224
ソフトウェア関連費										1,616		1,616
雑費										5		5
経常費用計	108,220	76,460	204,024	0	388,704	1,905	9,690	0	11,595	26,028	0	426,327
調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
評価損益等					0				0			0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等										70		70
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高					0	2,032			2,032	9,500		11,532
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	2,032	0	0	2,032	9,500	0	11,532
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額									0			
受取寄付金					0							0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,295	92,250	110,000		312,545				0	0		312,545
指定正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000		312,545	0	0	0	0	0	0	312,545
III 正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000	0	312,545	2,032	0	0	2,032	9,500	0	324,077

